

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	こども青少年課、教育委員会	課	児童課、学校教育課、学び支援課	事業番号	2111			
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか						
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓					
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○							
施策の方向	1 教職員等の意識と指導力の向上	を入れてください						
事業番号/事業名	2111 教職員等に対する学習機会、意識啓発の推進	評価2 (CHECK) 数値目標						
事業内容	男女共同参画の視点に立った教育を推進するため、教職員(幼・小・中・養・高)や指導員等(児童ホーム・こどもクラブ)に対する研修等の学習機会、意識啓発の充実を図る。(管理職研修、人権教育研修講座、個別学習の推進等)	目標項目 教職員が学習、研修を年1回以上実施した校数の割合						
令和元年度に に向けた 方向性	(課題)【児童課】 引き続き性別による固定的な役割分担意識にとられないよう、研修や会議の場を設けていかなければならない。 【学校教育課】 教育に係る人権課題は、複雑・多様化しており、各学校においては、いかに学習機会等を確保するのが課題である。 【学び支援課】 今後ともさまざまな立場の人たちへの理解を深めていく必要がある。 (今後の方向性)【児童課】 性別による役割分担意識にとられないよう、引き続き職員に対し研修や学習の場を設けることにより、互いに認め合い共生できる人間としての感性が育つように努める。 【学校教育課】 各校の実情に応じて、適切に研修を計画するとともに、男女共同参画を含めた広く教職員の人権感覚を磨く取組を継続していく。 【学び支援課】 引き続き、さまざまな立場の人達についての理解を深める研修講座を実施し、啓発を進めていく。	目標・実績						
	(PLAN)	目標値	100%	達成年度	33年度	30年度	95.20%	元年度
考参	関連する計画	実績の評価						
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所官課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った <input type="checkbox"/> 備考						
令和元年度	別紙参照	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容						
前年30年度	別紙参照	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について						
		課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。					
		今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。					
		【児童課】 研修や会議を行う中で、固定的な性別役割分担にとられないよう意識の改革を図っていく。 【学校教育課】 複雑・多様化する人権課題に対して、研修や自主学習など学習方法を工夫し、学習機会を確保していく必要がある。 【学び支援課】 複雑・多様化する人権課題において、前例主義に陥らず、教職員が理解しておくべき事柄を毎年精選していく必要がある。						
		【児童課】 研修や会議を行い、性別にとられることなく、男女が共に支え合い、個性と能力を十分に発揮できる職場環境をつくっていく。 【学校教育課】 数多くある人権課題を適切に理解できるよう、各校の実情に応じて研修を計画するとともに、男女共同参画を含めた広い人権感覚を教職員が磨く取組を継続していく。 【学び支援課】 さまざまな立場の人達への理解を深め、現代社会における適切な人権感覚を養えるような研修を計画する。						

34 別紙

2111 別紙

実施内容	
令和 元 年度	<p>【児童課】 児童課職員や大学講師を招いて研修を実施。</p> <p>①児童課研修「児童福祉法に位置づく児童ホームの役割」 令和元年5月29日(水) 青少年センター会議室1F 研修の中で、性別に関わらない、家族の役割分担などを、支援員として児童・保護者とう向き合っていくのかなどを改めて学んだ。</p> <p>②児童課研修「児童期の発達を学ぶ」ー幼児期～9・10歳の発達の節を学び実践に活かすためにー 令和元年12月12日(木) 教育・障害福祉センター4F視聴覚室 児童が発達していく過程で、児童自身がどのような男女差が生まれてくるのかを自己理解し、思考が変化していく中で、児童の発達にどんな支援が必要なのかを学んだ。</p> <p>【学校教育課】 市立小・中・高等学校において、男女共同参画の視点に立った教育に係る教職員研修等を実施した。 小学校39校/41校(うち研修25校、自主学習14校)、中学校18校/18校(うち研修17校、自主学習1校)、高等学校2校/3校(自主学習2校)、特別支援学校1校/1校(自主学習1校)。</p> <p>【学び支援課】 ①教職員研修事業:「人権教育研修講座」の実施 日時:令和元年8月22日(木) 場所:教育総合センター テーマ:「あなたの身近にもいるLGBT ～男女やLGBTだけじゃない! 性のあり方は十人十色～」 講師:井上 鈴佳 氏 受講者数:約72名</p>
前年 30 年度	<p>【児童課】 職員や大学の講師などを招き研修を行った。①H30年度6月に「児童ホーム育成支援指針の内容について考える」という題の研修を行った。研修の冒頭でダイバーシティについて資料を用いて説明。多様な家族構成があること、夫婦間の役割分担が昔とは変わってきていること(ワークライフバランス)、LGBTについて学んだ。誰もが生きやすく暮らしやすい社会になるよう、教育を行っていく必要があることを再認識するため研修を行った。②平成30年度11月に「児童期の発達を理解する 中学年～高学年の児童の発達を支えるために」という題の研修を行った。実際に成長していく中でどのような男女差が生まれてくるのか、思春期を迎え第二性徴期ともいわれる児童に対してどのように接していくか学んだ。</p> <p>【学校教育課】 市立小・中・高等学校において、男女共同参画の視点に立った教育に係る教職員研修等を実施した 小学校38校/41校(うち研修30校、自主学習13校)、中学校18校/18校(うち研修18校、自主学習0校)、高等学校3校/3校(うち研修3校、自主研修2校)、特別支援学校1校/1校(研修1校)。</p> <p>【学び支援課】 ①教職員研修事業:「人権教育研修講座」の実施 日時:平成30年8月20日(月) 場所:教育総合センター テーマ:「多様な性・LGBTと子どもたち」 講師:やっぱ愛ダホ! Idaho-net代表 遠藤 まめた 受講者数:約170名</p> <p>②教職員研修事業:「人権教育研修講座」の実施 日時:平成30年8月23日(木) 場所:教育総合センター テーマ:「多文化共生を学ぶ～世界の情勢を見つめる 人間の安全保障を考える」 講師:神戸大学大学院 栗栖 薫子 受講者数:約121名</p>

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	こども青少年局	課	保育運営課	事業番号	2112
事業概要	(PLAN)				
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	1 学校等における男女共同参画の推進				重点方針 ○
施策の方向	1 教職員等の意識と指導力の向上				
事業番号/事業名	2112 保育士研修の実施				
事業内容	保育士に対し専門性向上のひとつとして人権・男女共同参画に関連する研修を実施する。				
令和元年度に向けた方向性(PLAN)	<p>(課題)「保育者の基本姿勢自己点検表」については、平成30年度についても職場別研修として7月頃までに読み合わせをしたり、自己チェックをしたりして自らの人権意識を振り返る機会としている。経験年数が浅い保育士が増える中、職場全体で人権意識を高めていくためには、読み合わせ等にも十分時間をとり、丁寧に取り組んでいく必要がある。(今後の方向性)今後公立保育所においては、継続して人権等に関する研修及び「保育者の基本姿勢自己点検表」の取組を行い、職員の人権意識向上を図る。また、専門研修で「人権等に関する研修」を行う時には、引き続き広く尼崎市内の保育施設に参加を呼びかける。</p>				
参考	関連する計画				
実施内容(DO)	<p>※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。</p>				
令和元年度	<p>公立保育所では、年に1回「保育者の基本姿勢自己点検表(チェック項目の中に、性差や性別による固定的な役割分業意識を植え付けないようにする。・性別、障害の有無、国籍などにかかわらず、互いに認め合い共生できる人間としての感性が育つように努める。等の項目がある)」、及び「保育の自己評価(チェック項目の中に、一人ひとりの子どもを尊重した保育について、共通の理解をもつための取り組みを行っている)」を行い、人権意識を高めるための取り組みをしている。 (公立) 基礎研修・専門研修 40回(3月に予定していた研修が新型コロナウイルス感染症の拡大予防の対応のため中止したので、回数が減)1729人 保育所職場別研修:(保育所数21所)職場別研修の内、人権等にかかる研修 93回1087人(うち、男女共同参画にかかる研修 26回 245人) 派遣研修:5回16人 (私立) 私立保育所や小規模保育事業所、認定こども園等に対し、保育指導課が主催する専門研修に参加を呼びかけるとともに、県や団体等が実施する研修等の情報を提供している。参加のよびかけを行っている研修のうち、男女共同参画にかかる研修は1回で、私立保育園10ヶ所、小規模保育事業所11ヶ所、認定こども園3ヶ所、認可外保育施設8カ所の参加があった。 【職場別研修内容(主なもの)】 保育者の基本姿勢自己点検表の取り組み、ユマニチュードの視点から人権保育を学ぶ、アンコンシャスバイヤス(無意識の偏見)について、保育の中の人権について(不適切な関わりについて)など</p>				
前年30年度	<p>公立保育所では、年に1回「保育者の基本姿勢自己点検表(チェック項目の中に、性差や性別による固定的な役割分業意識を植え付けないようにする。・性別、障害の有無、国籍などにかかわらず、互いに認め合い共生できる人間としての感性が育つように努める。等の項目がある)」、及び「保育の自己評価(チェック項目の中に、一人ひとりの子どもを尊重した保育について、共通の理解をもつための取り組みを行っている)」を行い、人権意識を高めるための取り組みをしている。 (公立) 基礎研修・専門研修 47回1141人 保育所職場別研修:(保育所数21所)職場別研修の内、人権等にかかる研修 91回834人(うち、男女共同参画にかかる研修 21回 232人) 派遣研修:5回13人 (私立) 私立保育所や小規模保育事業所、認定こども園等に対し、保育指導課が主催する専門研修に参加を呼びかけるとともに、県や団体等が実施する研修等の情報を提供している。参加のよびかけを行っている研修のうち、男女共同参画にかかる研修は1回で、私立保育園11ヶ所、小規模保育事業所11ヶ所、認可外保育所4カ所の参加があった。 【職場研修内容(主なもの)】 保育者の基本姿勢自己点検表の取り組み、保育の中の人権について、ユマニチュードの視点から人権保育を学ぶ、職員の人権意識について～「尼崎市の保育を読んで」～、一人一人を大切に保育について など</p>				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
をに入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	今年度も7月までに「保育者の基本姿勢自己点検表」に取り組んでいるが、公立保育所でも経験年数が10年未満の保育士が66%を超えている。そのような現状も踏まえ、なぜこの取り組みを行うのかという意図を丁寧に伝え、保育実践につなげていく必要がある。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	今後も公立保育所においては、継続して、「保育者の基本姿勢自己点検表」に取り組み、職員の人権意識の向上を図る。また、専門研修で「人権等に関する研修」を行う際には、これまでも私立保育施設にも参加を呼びかけており、参加する施設は微増しているが、今後はオンラインでの受講等選択肢を増やす。				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	教育委員会	課	学校教育課	事業番号	2121	
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか					
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し					
方針	1 学校等における男女共同参画の推進				重点方針	○
施策の方向	2 学校教育等における男女共同参画意識の向上					
事業番号/事業名	2121 男女共同参画の視点に立った教育の推進					
事業内容	・全教育活動の中で、男女の固定的な役割分担を前提とせず、人権の尊重・男女の協力・相互理解等の指導の充実に努めるとともに、男女が性別にかかわらず、互いにその個性を尊重しつつ、等しく責任を分かち合い、それぞれの能力を十分に発揮することができるような教育を推進する。・男女混合名簿完全実施を維持する。					
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題)教育に係る人権課題は、複雑・多様化しており、各学校においては、対応に追われる機会が多い中で、いかに男女共同参画の視点に立った指導や教育を行っていくかが課題である。 (今後の方向性)各校の実情に応じて、人権課題において適切な対応を図るとともに、道徳の時間を有効に活用しながら男女共同参画の視点に立った教材研究、人権教育資料「ほほえみ」「きらめき」の活用、また、適切に校内研修を計画し実施するなど、教育活動全般を通して、児童生徒の人権感覚を磨く取組を継続して行っていく。					
参考	関連する計画					
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。					
令和元年度	○兵庫県教育委員会作成の「男女共同参画社会をめざす学校教育の実践に向けて」や、人権教育資料「ほほえみ(小学校用)」「きらめき(中学校用)」などを道徳等で活用し、男女共同参画の視点に立った教育の推進に努める。 また、社会科や保健、家庭科などの授業や外部講師を招聘しての講演会等においても男女共生教育を取り扱うなど、教育活動全般を通して取組を進めていく。 (参考) ・「ほほえみ」の男女共生教育にかかわる部分の活用状況:71% ・「きらめき」の男女共生教育にかかわる部分の活用状況:22% ・講演会等で男女共生教育にかかわる講演会の状況: 県の副読本である「きらめき」以外でも、男女共同参画の視点にたった内容項目のある教材などを活用したり、人権に関する講演会を実施したり、人権教育全般における教育の推進に努めており、結果として中学校では、「きらめき」の活用状況が低い状況にある。 ○男女混合名簿は、全ての小・中学校で実施している。また、「学校経営の中で男女分け隔てなく生活できるよう、互いに理解し合えるよう取り組んでいる」「持ち物等の色を性差分けることをしない」等としている学校もある。					
前年30年度	○兵庫県教育委員会作成の「男女共同参画社会をめざす学校教育の実践に向けて」や、人権教育資料「ほほえみ(小学校用)」「きらめき(中学校用)」などを道徳等で活用し、男女共同参画の視点に立った教育の推進に努める。 また、社会科や保健、家庭科などの授業でも男女共生教育を取り扱うなど、教育活動全般を通して取組を進めていく。 (参考) ・「ほほえみ」の男女共生教育にかかわる部分の活用状況:68% ・「きらめき」の男女共生教育にかかわる部分の活用状況:22% 県の副読本である「きらめき」以外でも、男女共同参画の視点にたった内容項目のある教材などを活用したり、人権に関する講演会を実施したり、人権教育全般における教育の推進に努めており、結果として中学校では、「きらめき」の活用状況が低い状況にある。 ○男女混合名簿は、全ての小・中学校で実施している。また、学校経営の中で男女分け隔てなく生活できるよう、互いに理解し合えるよう取り組んでいる「持ち物等の色を性差で分けるのではなく、好みや個性で選ぶ」としている学校もある。					
評価2 (CHECK) 数値目標	目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度	
実績の評価	□	達成している	□	下回った	備考	
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。					
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。					
教育に係る人権課題は、複雑・多様化しており、各学校においては、対応に追われる機会が多い中で、いかに男女共同参画の視点に立った指導や教育を行っていくかが課題である。	各校の実情に応じて、人権課題において適切な対応を図るとともに、道徳の時間を有効に活用しながら男女共同参画の視点に立った教材研究、人権教育資料「ほほえみ」「きらめき」の活用、外部講師の活用、また、適切に校内研修を計画し実施するなど、教育活動全般を通して、児童生徒の人権感覚を磨く取組を継続して行っていく。					

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	教育委員会	課	学校教育課	事業番号	2122
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	生徒の思いを大切にしながら進路指導に努めるとともに、理工系分野に関心をもつ女子生徒には情報を提供するなど、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように支援する必要がある。				
	今後も、性別にとられずに主体的に進路選択ができるよう、児童生徒ひとりひとりの進路実現に向けて、「キャリアノート」の活用による発達段階に応じた支援、個別の具体的な進路相談や懇談による支援など、教育活動全体を通じた丁寧な取組を継続し、進路指導の充実を図る。				

事業概要	(PLAN)				
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	1 学校等における男女共同参画の推進				重点方針 <input type="checkbox"/>
施策の方向	2 学校教育等における男女共同参画意識の向上				
事業番号/事業名	2122 女子生徒の理工系分野への進学支援を含む進路指導の充実				
事業内容	理工系分野に興味がある女子生徒の進路選択を支援するため、国等が行う女性の科学技術系進路への興味、理解の向上に向けた取組情報を積極的に生徒に提供するなど、性別にとられずに主体的に進路選択ができるよう進路指導の充実を図る。				
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題) 生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように生徒の思いを大切にしながら進路指導に努める必要がある。 (今後の方向性) 性別にとられずに主体的に進路選択ができるよう、児童生徒ひとりひとりの進路実現に向けて、「キャリアノート」の活用による発達段階に応じた支援、個別の具体的な進路相談や懇談による支援など、教育活動全体を通じた丁寧な取組を継続し進路指導の充実を図る。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、市内全18校の1～3年生に「キャリアノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、生徒の思いを大切にしながら進路指導に努めた。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、進路指導担当教員を中心に個別に具体的な進路相談による進路指導の中で、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供した。 ・中学校、高等学校ともに、例えば、理工系分野に関心をもつ女子生徒には、「女子中高生理系進路選択プログラム」に関する情報を提供する等、それぞれの生徒の成績や適性に応じた進路指導に努めた。 ・また、学校へのアンケートのなかには、「キャリア教育の中で、これまでの職業に対する性差や偏見にとられずに、自由に希望し選択が広がっていることを教える」という回答もあった。 				
前年30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、市内全18校の1～3年生に「キャリアノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、生徒の思いを大切にしながら進路指導に努めた。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、進路指導担当教員を中心に個別に具体的な進路相談による進路指導の中で、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供した。 ・中学校、高等学校ともに、例えば、理工系分野に関心をもつ女子生徒には、「女子中高生理系進路選択プログラム」に関する情報を提供する等、それぞれの生徒の成績や適性に応じた進路指導に努めた。 ・また、学校へのアンケートのなかには、「キャリア教育の中で、これまでの職業に対する性差や偏見にとられずに、自由に希望し選択が広がっていることを教える」という回答もあった。 				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	教育委員会	課	学校教育課	事業番号	2123										
事業概要 (PLAN)	基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○ 施策の方向 2 学校教育等における男女共同参画意識の向上 事業番号/事業名 2123 地域や家庭に対する啓発活動の充実 事業内容 市の教育啓発誌や学校などからの配布物などを利用して啓発活動を推進する。 令和元年度に向けた方向性 (PLAN) (課題) 今後も継続的に保護者・地域への開発を進める必要がある。 (今後の方向性) 様々な機会をとらえて、保護者・地域への啓発を継続して行く。														
参考	関連する計画														
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。														
令和元年度	人権週間などの機会をとらえて、人権啓発につながる校内掲示を行ったり、人権啓発つながる題材を「学校だより」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行った。 ○各学校の取組 ・男女共同参画の観点で、保健だよりや学校のホームページ等を活用して、各種講演会や体験教室の内容や感想を載せることで、家庭への啓発を行っている。 ・男女共生の観点で、講演会を活用して、保護者や地域の方々にも性同一性障害についての知識・理解を深める場を設けた 等														
前年30年度	人権週間などの機会をとらえて、人権啓発につながる校内掲示を行ったり、人権啓発つながる題材を「学校だより」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行った。 ○各学校の取組 ・男女共同参画の観点で、保健だよりや学校のホームページ等を活用して、各種講演会や体験教室の内容や感想を載せることで、家庭への啓発を行っている。 ・男女共生の観点で、講演会を活用して、性同一性障害についての知識・理解を深める場を設けた 等														
評価1 (CHECK)	男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓														
評価2 (CHECK)	数値目標 目標項目 目標・実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>					目標値	達成年度	年度	30年度	元年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	30年度	元年度											
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考											
評価3 (CHECK)	男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について														
課題 (CHECK)	※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。														
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。														
今後の方向性	今後も、様々な機会をとらえて、保護者・地域への啓発を継続して行く。														

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	こども青少年局、教育委員会	課	保育運営課、幼稚園・高校企画推進担当	事業番号	2124
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
<input checked="" type="checkbox"/> を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度
実績の評価	達成している		下回った	備考	
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取り組みの方向性を記載してください。				
	【保育運営課】 保育所行事への参加は年々増加傾向にあるが、保育所への送迎等は父親の方が長時間勤務のケースも多く、母親の送迎の方が圧倒的に多い。 【幼稚園・高校企画推進担当】 子育て支援事業の宣伝方法のより一層の工夫(保護者ニーズに合わせたSNS等を利用した宣伝方法の工夫)				
	【保育運営課】 ・入所している児童の保護者向けには、今後とも行事や夜間の懇談会に父親の参加も呼びかけるなど、楽しんで育児参加してもらえるような雰囲気づくりを大事にする。また、紙ベースでの便利だけでなく、よい子ネットなどを活用することにより、保護者等に保育所での生活を知ってもらい、保護者が共に子育てに関わろうとするきっかけにしよう。 ・子育て支援事業の「保育体験」では、今年度は母親だけではなく、父親や祖母の参加もあったので、誰でもが参加しやすい雰囲気づくりや情報提供をより心がけていく。 【幼稚園・高校企画推進担当】 保健所の健診場所、小児科等での配布など、チラシ配布場所をより増やしたり、SNS等の発信を工夫することで、地域の幼稚園での活動への保護者の参加者増につなげていく。				

事業概要	(PLAN)
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	2 学校教育等における男女共同参画意識の向上
事業番号/事業名	2124 保育所等における保護者への啓発
事業内容	保護者が子どもに対して性別による固定的な役割分担意識で接することのないような啓発、男性の育児参加についての啓発を行う。
令和元年度に向けた方向性	(課題)【保育指導課】 入所している家庭でいえば、保育所行事への参加は年々父親の参加も増えている。送迎等を父親が行っているケースもあるが、父親の方が長時間勤務のケースも多く、母親の送迎の方が圧倒的に多い傾向にある。 【幼稚園・高校企画推進担当】 体験保育事業の宣伝方法のより一層の工夫(チラシ配布場所、ホームページ等の活用等) (今後の方向性)【幼稚園・高校企画推進担当】 保健所の健診場所、小児科等での配布など、チラシ配布場所を増やすことで、地域の幼稚園での親子活動への保護者の参加者増につなげていく。 【保育指導課】 入所児童向けの懇談会は夜間に行うので、父親の参加も呼びかけるなどし、楽しんで育児参加してもらえるような雰囲気づくりをする。また、地域の保護者向けの事業「夢ルーム」でも、男性の育児参加の視点も入れながらアドバイスを行う。
考参	関連する計画
実施内容	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。
令和元年度	【保育運営課】 (公立) 公立保育所は、入所している保護者に対し、日々の送迎や行事、懇談会など色々な機会を捉えて父親も子育てができるように働きかけている。 ・保育所だよりの発行(毎月) ・保護者参加の行事等を実施(保護者総会、クラス懇談会、個人懇談会、保育参加、運動会等) ・子育てサポートブック「amaえんぼう」を各地区の生涯学習フェアや保育体験、夢ルームに来られた方に配布するとともに、保育所の見学に来られた方にも配布した。 ・子育て支援事業案内 8,000枚/年 ・市内を4つの地域に分けて、それぞれで地域版チラシを作成して配布した。(秋版2,500/年) ・尼崎市立保育所の保育のリーフレットの配布 【幼稚園・高校企画推進担当】 ・市立幼稚園でのオープンスクールを平日だけでなく土曜日にも開催することで、親子活動への保護者の参加者増につなげた。土曜日開催の案内は各園ではホームページ、チラシ配布、ポスター掲示で行い、委員会では日報掲載とFMあまがさきで放送するなど、宣伝方法を工夫した。 ・市立幼稚園9園では、すこやか子育て支援事業「ふれあいランド」を土日も開催して、保護者の参加を促している。また内容についても、体を動かす遊びやどろんこ遊びなど、を体験できるオープンスクールを開催し、保護者の参加を促している。
前年30年度	【保育指導課】 (公立) 公立保育所は、入所している保護者に対し、日々の送迎や行事、懇談会など色々な機会を捉えて両親がともに子育てができるように働きかけている。 ・保育所だよりの発行(毎月) ・保護者参加の行事等を実施(保護者総会、クラス懇談会、個人懇談会、保育参加、運動会等) ・子育てサポートブック「amaえんぼう」を地区の生涯学習フェアや保育体験、夢ルームに来られた方に配布するとともに、保育所の見学に来られた方にも配布した。(夢ルームでは、保護者同士のフリートークの時間を活用し、男性の育児参加を含め子育てについて情報交換した) ・子育て支援事業案内 8,000枚/年 ・市内を4つの地域に分けて、それぞれで地域版チラシを作成して配布した。(秋版3,480枚/年) ・尼崎市立保育所の保育のリーフレットの配布 【幼稚園・高校企画推進担当】 ・行事等を行う際に親子活動を取り入れたり、休日に開催したりしながら、両親が参加しやすい取組を行った。 ・幼稚園で行う市立幼稚園体験保育事業では、地域の親子が両親とともに参加しやすい取組を行った。(年間25回)

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	教育委員会事務局	課	社会教育課	事業番号	2125
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか			
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	1 学校等における男女共同参画の推進			重点方針	○
施策の方向	2 学校教育等における男女共同参画意識の向上				
事業番号/事業名	2125 人権啓発活動事業				
事業内容	男女共同参画意識の高揚・定着が図られるよう、児童・生徒・幼児の保護者等に対し、人権啓発資料による啓発活動や人権啓発講座等を実施する。				
令和元年度に向けた方向性	(課題)小集団学習事業については、少子化による保護者総数の減少や、共働き世帯の増加等により、学習活動の中核となる「PTA」活動者の担い手不足などの状況があり、小集団学習グループの継続が厳しい状況である。(今後の方向性)市民一人ひとりの人権が尊重され、自己実現に向けて生きる喜びを感じられる「互いの人権を尊重し、ともに生きるまち」を目指し、人権問題啓発資料等の作成や、人権教育小集団学習事業の充実が今後必要である。今年度は、大人と同様に一人の人間として尊重されるべき「子どもの人権」をテーマに、社会全体で子どもを守り育てていくことの大切さを伝える人権啓発資料の作成を進める。人権教育小集団学習事業は、現在活動しているグループの活動を継続しやすくする方策を検討するとともに、より多くの市民に人権について学ぶ機会を提供する方法等、新たなアプローチを検討していく必要がある。				
(PLAN)					
参考	関連する計画	尼崎市人権教育・啓発推進基本計画			
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	別紙参照				
前年30年度	別紙参照				
		評価2 (CHECK) 数値目標			
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容			
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について			
		課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。			
		小集団学習事業については、少子化による保護者総数の減少や、共働き世帯の増加等により、学習活動の中核となる「PTA」組織のスリム化が進んでいく方向であり、小集団学習グループの継続が厳しい状況である。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合学習が困難になってきている。			
		今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。			
		・人権教育小集団学習事業は、活動回数を緩和するほか、オンラインの活用等、現在活動しているグループの存続を支援するとともに、自主学習グループを立上げようとする学習者への支援を積極的に行う。 ・新たな学習支援として、人権教育小集団学習をコンパクトにし、グループ学習のノウハウを支援する「じんけん学習サポート事業」を、令和2年度より実施する。			

40 別紙

2125 別紙

実施内容	
令和元年度	<p>基本的人権が尊重される地域社会の形成に向け、人権啓発資料の作成・配布を行うとともに学習会・講演を実施し、市民の意識の高揚を図る。</p> <p>○ 市民啓発活動事業</p> <p>《趣旨》 市民への、人権学習の普及、徹底を図るとともに、地域社会への人権学習活動の浸透を図るため、人権啓発資料を作成し配布する。</p> <p>《内容》 テーマ：冊子「子どもの人権～子どもの未来を奪わないために～」（「子どもの権利条約」について理解を深めていただき、子ども一人一人が尊厳のある存在であることを啓発する。）</p> <p>《執筆者》 関西学院大学大学院 人間福祉研究科 教授 桜井 智恵子 氏</p> <p>《発行部数等》 82,000部 市内各学校・園(所)、その他公共施設等及び市民向けに配布。</p> <p>○ 学習資料の発行事業「あけぼの」</p> <p>《趣旨》 人権問題について学習する小集団学習者に教材を提供することにより学習効果を高める。</p> <p>《作成部数等》 850部 小集団学習者 幼稚園、小・中学校その他教育機関等</p> <p>○ 人権週間のつどい事業(人権週間・街頭啓発活動・冊子「じんけん」)</p> <p>《目的》 人権週間の記念行事を開催することにより、世界人権宣言の精神に学び人権の内容を正しく理解し、人権の尊さについて市民に考える機会を提供し、人権思想の普及高揚を図る。人権週間のつどいにおいて表彰される、中学生の人権作文及び小学生の人権書道(硬筆)の作品集として、冊子「じんけん」を作成する。</p> <p>《作成部数等》 800部 人権週間のつどい参加者及び内中学校・小学校や生涯学習プラザ等社会教育施設へ配布</p> <p>○ 人権教育小集団学習事業</p> <p>《目的》 人権問題の解決のため、市内の自主的小集団学習グループに事業を委託し、系統的・継続的な相互学習を進め、市民の人権問題に対する正しい理解を深め、人権感覚を身につけた市民の育成を図る。</p> <p>《グループ数等》 R1:44グループ (幼稚園:9 小学校:21 中学校:4 自主:10)</p> <p>○ 人権教育巡回啓発講座事業(R1:13園)</p> <p>《目的》 幼児を持つ保護者を対象に人権問題についての講演を行うことにより、保護者の人権意識の高揚を図る。</p> <p>《実施園》 公立幼稚園(9園) 私立幼稚園(4園) 講師:8名(人権教育指導者登録者のうち元学校長等教育者)</p> <p>○ 人権・同和教育振興事業</p> <p>《目的》 人権教育の振興のため、系統的・継続的な相互学習を進め、人権問題に対する正しい理解を深め、差別の解消を目指す市民の育成を図る。</p> <p>《委託先》 尼崎市人権・同和教育研究協議会《内容》 研修会・講座・学習会 ・研究大会 ・指導者育成・研修活動・啓発活動・広域活動等</p>
前年30年度	<p>基本的人権が尊重される地域社会の形成に向け、人権啓発資料の作成・配布を行うとともに学習会・講演を実施し、市民の意識の高揚を図る。</p> <p>○ 市民啓発活動事業</p> <p>《趣旨》 市民への、人権学習の普及、徹底を図るとともに、地域社会への人権学習活動の浸透を図るため、人権啓発資料を作成し配布する。</p> <p>《内容》 テーマ：冊子「アサーション～自分を大切に、相手も大切にすることがわり～」（自分を大切にすると同時に、相手のことも大切にしようという相互尊重の精神に基づいた自己表現方法等）</p> <p>《執筆者》 公益財団法人関西カウンセリングセンター ころろ相談室 室長 宮田 智基 氏 (臨床心理士)</p> <p>《発行部数等》 90,000部 市内各学校・園(所)、その他公共施設等及び市民向けに配布。</p> <p>○ 学習資料の発行事業「あけぼの」</p> <p>《趣旨》 人権問題について学習する小集団学習者に教材を提供することにより学習効果を高める。</p> <p>《作成部数等》 1,100部 小集団学習者 幼稚園、小・中学校その他教育機関等</p> <p>○ 人権週間のつどい事業(人権週間・街頭啓発活動・冊子「じんけん」)</p> <p>《目的》 人権週間の記念行事を開催することにより、世界人権宣言の精神に学び人権の内容を正しく理解し、人権の尊さについて市民に考える機会を提供し、人権思想の普及高揚を図る。人権週間のつどいにおいて表彰される、中学生の人権作文及び小学生の人権書道(硬筆)の作品集として、冊子「じんけん」を作成する。</p> <p>《作成部数等》 850部 人権週間のつどい参加者及び内中学校・小学校及び公民館等社会教育施設へ配布</p> <p>○ 人権教育小集団学習事業</p> <p>《目的》 人権問題の解決のため、市内の自主的小集団学習グループに事業を委託し、系統的・継続的な相互学習を進め、市民の人権問題に対する正しい理解を深め、人権感覚を身につけた市民の育成を図る。</p> <p>《グループ数等》 H30:45グループ (幼稚園:10 小学校:23 中学校:5 自主:7)</p> <p>○ 人権教育巡回啓発講座事業(H30:16園) 他1園警報発令のため中止</p> <p>《目的》 幼児を持つ保護者を対象に人権問題についての講演を行うことにより、保護者の人権意識の高揚を図る。</p> <p>《実施園》 公立幼稚園(10園) 私立幼稚園(6園) 講師:8名(人権教育指導者登録者のうち元学校長、大学講師等)</p> <p>○ 人権・同和教育振興事業</p> <p>《目的》 人権教育の振興のため、系統的・継続的な相互学習を進め、人権問題に対する正しい理解を深め、差別の解消を目指す市民の育成を図る。</p> <p>《委託先》 尼崎市人権・同和教育研究協議会《内容》 研修会・講座・学習会 ・研究大会 ・指導者育成・研修活動・啓発活動・広域活動等</p>

40 別紙

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	教育委員会事務局	課	社会教育課	事業番号	2126
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか			
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓		
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="checkbox"/>				
施策の方向	2 学校教育等における男女共同参画意識の向上				
事業番号/事業名	2126 人権啓発リーダー育成事業	を入れてください			
事業内容	児童・生徒・幼児の保護者等の男女共同参画を含めた人権学習の推進を図るため、市民グループリーダーの育成及び指導者等を派遣する。	評価2 (CHECK) 数値目標			
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題) 人権教育指導者や人権啓発推進リーダーが高齢化してきている。令和元年度に向けて、人権教育指導者については1名の登録者、人権啓発推進リーダーについては2名の委嘱者を新たに発掘することができたが、まだ全体的には幅広い人材発掘が必要である。 (今後の方向性) 人権教育指導者や人権啓発推進リーダーの新たな人材の発掘や、人材育成の場となる小集団学習グループ事業を引き続き実施していく必要がある。	目標項目			
参考	関連する計画 尼崎市人権教育・啓発推進基本計画	目標・実績	目標値	達成年度	年度 30年度
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。	実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>
令和元年度	別紙参照	評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容		
			男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について		
前年30年度	別紙参照	課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。		
		今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。		
		人権啓発推進リーダーについては、就労等により活動回数が減少していることと、年齢が高い人が多い傾向があるため、子育て世代に対しアドバイスができ、共に学び共感が得られる年齢層のリーダーの発掘・増員が必要である。			
		・より多くの市民に、人権について学ぶ機会を提供するために、身近な人権啓発推進リーダーや人権教育指導者を活用した活動が今後も必要である。 ・人権教育指導者や人権啓発推進リーダーの新たな人材の発掘については、元学校長やオピニオンリーダー経験者を中心に、適任者への働きかけを行うとともに、人材育成の場となる小集団学習グループの活動が継続されるよう引き続き支援する。			

41 別紙

2126 別紙

実施内容	
令和 元 年度	<p>市民の人権学習に際し、助言するリーダーを育成することにより、市民の学習の促進と充実を図る。</p> <p>○ 人権啓発オピニオンリーダー設置事業</p> <p>≪目的≫ 人権問題の解決をめざし、自主的に学習する市内の市民グループの中からオピニオンリーダーを委嘱することにより、各グループにおける学習の活性化を図り、学習活動を促進し、人権教育の推進を図る。</p> <p>≪委嘱者数≫ R1: 委嘱者数44人</p> <p>○ 人権啓発オピニオンリーダー研修事業</p> <p>≪目的≫ 市民に対する人権教育の浸透を図るため、学習の推進等の活動を行う。</p> <p>≪活動≫ 毎月1回、各生涯学習プラザ(各地域課と共催)にて開催される学習会に参加。</p> <p>≪内容≫ 「ライフスキル」「命の誕生」「子どもの自尊感情」「アサーション」「LGBT」「発達障害」「ペアレントトレーニング」「障害のある人の人権」等をテーマに研修会を実施した。</p> <p>○ 人権教育指導者派遣事業</p> <p>≪目的≫ 各種市民団体、グループからの要請に基づき、人権教育指導者を講師として派遣することにより、人権教育の正しい理解と学習活動を促進し、人権教育の推進を図るものとする。</p> <p>≪登録講師≫ R1: 14人(前年比1人増)(人権についての見識と情熱を持ち、豊富な実戦経験を有する者)</p> <p>≪派遣回数≫ R1: 17回(生涯学習プラザ(地域課)、地域総合センター等)</p> <p>○ 人権啓発推進リーダー設置事業等</p> <p>≪目的≫ 人権問題の解決を目指し、地域における啓発活動の推進と人権教育の指導体制の強化を図るため、尼崎市人権啓発推進リーダーを置く。人権学習自主グループに対し、助言者として派遣することにより、市民の人権学習の充実・発展を図る。</p> <p>≪委嘱者数≫ R1: 委嘱者15人(前年比2人増)(派遣等回数: 572回研修会を含む)</p>
前年 30 年度	<p>市民の人権学習に際し、助言するリーダーを育成することにより、市民の学習の促進と充実を図る。</p> <p>○ 人権啓発オピニオンリーダー設置事業</p> <p>≪目的≫ 人権問題の解決をめざし、自主的に学習する市内の市民グループの中からオピニオンリーダーを委嘱することにより、各グループにおける学習の活性化を図り、学習活動を促進し、人権教育の推進を図る。</p> <p>≪委嘱者数≫ H30: 委嘱者数45人</p> <p>○ 人権啓発オピニオンリーダー研修事業</p> <p>≪目的≫ 市民に対する人権教育の浸透を図るため、学習の推進等の活動を行う。</p> <p>≪活動≫ 毎月1回、各地区公民館にて開催される学習会に参加。</p> <p>≪内容≫ 「女性の人権」(それぞれが感じている女性の人権問題等について)「LGBT」(性の多様性について)「子どもの人権」(児童虐待等の実態から子どもの人権を考える)等をテーマに研修会を実施した。</p> <p>○ 人権教育指導者派遣事業</p> <p>≪目的≫ 各種市民団体、グループからの要請に基づき、人権教育指導者を講師として派遣することにより、人権教育の正しい理解と学習活動を促進し、人権教育の推進を図るものとする。</p> <p>≪登録講師≫ H30: 13人(前年比1人増)(人権についての見識と情熱を持ち、豊富な実戦経験を有する者)</p> <p>≪派遣回数≫ H30: 17回(公民館 地区会館、地域総合センター、女性センターテレビエ等)</p> <p>○ 人権啓発推進リーダー設置事業等</p> <p>≪目的≫ 人権問題の解決を目指し、地域における啓発活動の推進と人権教育の指導体制の強化を図るため、尼崎市人権啓発推進リーダーを置く。人権学習自主グループに対し、助言者として派遣することにより、市民の人権学習の充実・発展を図る。</p> <p>≪委嘱者数≫ H30: 委嘱者13人(前年と同数)(派遣等回数: 491回研修会を含む)</p>

41 別紙

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	教育委員会	課	学校教育課、学び支援課	事業番号	2131					
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか								
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓							
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="radio"/>									
施策の方向	3 学校教育等におけるメディアリテラシー(情報教育)の向上(情報モラルを含む)									
事業番号/事業名	2131 メディアリテラシー教育(情報教育)の推進	を入れてください								
事業内容	インターネットをはじめとする様々なメディア情報について、男女の役割の固定化や人権を侵害する表現がみられることなど、その特性と危険性を理解し、情報を適正に判断し活用する能力を身につけるメディアリテラシー教育(情報教育)を推進する。	評価2 (CHECK) 数値目標								
令和元年度に向けた方向性	(課題)【学校教育課】携帯電話やタブレットの普及により、メディアリテラシーについては、児童生徒にとって身近な課題となっている。 【学び支援課】ICT機器が急速に進化する中で、教員がさまざまなメディアに応じたリテラシー教育を実践できるような研修内容にしていく必要がある。 (今後の方向性)【学校教育課】生徒がインターネットの特性と危険性を理解し、活用する能力を身につけられるよう今後も継続して取組を進める。 【学び支援課】ケータイを通じたSNS上のトラブルなど、児童生徒が直面する課題を取り上げて研修内容に盛り込んでいきたい。	目標項目	メディアリテラシー(情報教育)に関する教職員研修の実施回数							
(PLAN)		目標・実績	目標値	年2回	達成年度	33年度	30年度	6回	元年度	5回
参考	関連する計画	実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考			
実施内容 (DO)		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容								
※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について								
令和元年度	別紙参照									
		課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。							
前年30年度	別紙参照	【学校教育課】携帯電話やタブレットの普及により、メディアリテラシーについては、児童生徒にとって身近な課題となっている。令和元年度は市立小・中・高等学校において、メディアリテラシーに係る研修会等を全ての学校で行ったが、メディアリテラシーの能力を身につけるためには、継続的に研修を行う必要がある。 【学び支援課】各学校で研修した内容が活かされるよう、スマホやSNSなど、子どもたちに身近な様々なテーマを取り上げて研修を開催していく必要がある。								
		今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。							
		【学校教育課】生徒がインターネットの特性と危険性を理解し、活用する能力を身につけられるよう今後も継続して取組を進める。 【学び支援課】新しい学習指導要領の中で「学習の基盤となる資質・能力」の一つである「情報活用能力」を育成する観点から、市としての系統的なカリキュラムモデルを作成して、各学校で活用できるようにしていく。								

42 別紙

2131 別紙

実施内容	
令和元年度	<p>【学校教育課】 市立小・中・高等学校において、メディアリテラシーに係る研修会や授業の中で話し合いの場を設ける等の学習を行った(小学校41校/41校、中学校 18校/18校、高等学校3校/3校、特別支援学校1校/1校)。 (内容) ○外部講師を招き、ネット・スマホについての講演会を児童生徒、保護者、地域に向けてを開催した。 ・児童生徒と保護者が、スマートフォンや携帯の利用に関連するトラブルやネット犯罪を未然に防ぐための対処法を学ぶ講座 ・ネット上のルールを守る意識の向上と、犯罪の実態を知り、予防策・対処法を学ぶ講座 等 【講師】 ・県警サイバー犯罪対策課 ・LINE株式会社 ・携帯会社 ・兵庫県セキュリティサポーター ・NTT ・大学教授等 ○人権教育(道徳の時間を活用)において、人権教育資料「ほほえみ」「きらめき」活用し、情報モラルに関する授業を実施した。 ○道徳の教科書で取り扱われている情報モラルに関する教材を一覧表にし、系統的に指導ができるよう小学校及び中学校に配布した。</p> <p>【学び支援課】 ・1年目教員必修研修 第1回(平成31年4月23日、講師:藤井俊史指導主事、森井崇指導主事) テーマ「尼崎市のICT環境」 ・1年目教員必修研修 第3回(令和元年5月28日、7月2日、講師:藤井俊史指導主事、森井崇指導主事) テーマ「校務支援システム/AMA-NET個人メールの活用、情報モラル教育、教科指導におけるICTの活用」 ・1年目教員必修研修 第9回(令和元年9月10日、9月17日、講師:藤井俊史指導主事、森井崇指導主事) テーマ「教科等の指導におけるICT活用」 ・SNS対応研修(令和元年5月14日、講師:一社 ソーシャルメディア研究会 代表 竹内和夫氏) テーマ「スマホ時代の子どものために」 ・情報モラル・セキュリティ研修講座(令和元年8月5日、講師:LINE株式会社 インストラクター 鳥羽浩子氏) テーマ「情報モラル教育に関する指導力の向上」</p>
前年30年度	<p>【学校教育課】 市立小・中・高等学校において、メディアリテラシーに係る研修会や授業の中で話し合いの場を設ける等の学習を行った(小学校41校/41校、中学校18校/18校、高等学校3校/3校、特別支援学校0校/1校)。 (内容) ○外部講師を招き、ネット・スマホについての講演会を児童生徒、保護者、地域に向けてを開催した。 ・児童生徒と保護者が、スマートフォンや携帯の利用に関連するトラブルやネット犯罪を未然に防ぐための対処法を学ぶ講座 ・ネット上のルールを守る意識の向上と、犯罪の実態を知り、予防策・対処法を学ぶ講座 等 【講師】 ・県警サイバー犯罪対策課 ・LINE株式会社 ・携帯会社 ・兵庫県セキュリティサポーター ・NTT ・大学教授等 ○人権教育(道徳の時間を活用)において、人権教育資料「ほほえみ」「きらめき」活用し、情報モラルに関する授業を実施した。</p> <p>【学び支援課】 ・1年目教員必修研修 第1回(平成30年4月24日、講師:小谷隆宏指導員) テーマ「尼崎市のICT環境」 ・1年目教員必修研修 第2回(平成30年5月22日、5月29日、講師:小谷隆宏指導員、藤井俊史指導員) テーマ「校務支援システムの活用、情報モラル教育、教科指導におけるICTの活用」 ・1年目教員必修研修 第9回(平成30年9月18日、講師:小谷隆宏指導員、藤井俊史指導員) テーマ「教科等の指導におけるICT活用」 ・小学校ICT活用研修講座(平成30年8月6日、講師:小谷隆宏指導員) テーマ「コンピュータ室のタブレット端末及びソフトウェアを活用した授業について」 ・中学校ICT活用研修講座(平成30年8月8日、講師:藤井俊史指導員) テーマ「コンピュータ室の機器を活用した授業について」 ・情報モラル・セキュリティ研修講座(平成30年8月7日、講師:阪神教育事務所 櫻木 雅哉 指導主事) テーマ「情報モラル教育実践と情報セキュリティについて」</p>

42 別紙

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	教育委員会事務局	課	学び支援課、社会教育課	事業番号	2132
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか			
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓		
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="radio"/>		を入れてください		
施策の方向	3 学校教育等におけるメディアリテラシー(情報教育)の向上(情報モラルを含む)				
事業番号/事業名	2132 有害情報の規制				
事業内容	学校等においてインターネット上の有害情報の取扱いにかかる啓発・指導を行う。青少年に悪影響を及ぼす有害図書等の回収を実施する。カラオケ、レンタルビデオ店等の出店場所や青少年の集まりやすい場所の実態を把握するために「環境実態調査」を実施する。				
令和元年度に向けた方向性	(課題)【学び支援課】インターネット上の有害情報がさまざまなメディアから発信されるため、フィルタリングの有効性を常に検証することが必要になる。 【社会教育課】スマホの急速な普及により青少年の遊びがインターネットやSNSを利用したものとなり、問題が表面化しにくくなっている。また、小学生などの問題行動が増加傾向にあり、非行の低年齢化がうかがえる。 (今後の方向性)【学び支援課】今後も有害情報に関しては、フィルタリングソフト等で対策を講じるとともに、教員の研修を充実させることで、児童生徒が安心して学習できる環境づくりに努める。 【社会教育課】青少年の問題行動については、学校や地域・家庭との情報交換を密にし、連携の強化を図る。少年補導委員に対してインターネット等の研修を行うほか、少年補導委員との連携により有害環境浄化に取り組む。	評価2 (CHECK) 数値目標			
(PLAN)		目標項目			
参考	関連する計画	実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	別紙参照	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容			
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について			
		課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。		
前年30年度	別紙参照	【学び支援課】 フィルタリングの有効性については継続して検証を重ねる必要がある。 【社会教育課】 青少年の遊びが、インターネットやSNSを利用したものとなり、問題が発生しても、従来の補導では見つけにくくなっている。 また、小学生など問題行動を起こす年齢層が下がり、非行の低年齢化がうかがえる。			
		今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。		
		【学び支援課】 新しい教育情報システムの構築時に、フィルタリングの妥当性や有効性について検討していく体制の在り方についても考慮する。 【社会教育課】 少年補導委員に対してインターネット等の研修を行うほか、少年補導委員との連携により有害環境浄化に取り組む。 青少年の問題行動については、学校や地域・家庭との情報交換を密にし、連携の強化を図る。			

43 別紙

2132 別紙

実施内容	
令和元年度	<p>【学び支援課】 学校で使用するパソコンには、有害コンテンツフィルタの設定を行っている。有害情報に係るカテゴリーや削除フィルターの有効性を検証し、有害情報が適切に除去できているか適宜確認している。この機能を活用することで、児童生徒が性教育等に関する学習活動を行う場合でも、必要な情報を得ることも可能であり、正しい知識の習得につながっている。</p> <p>【社会教育課】 ○有害環境等実態調査を実施。 ・少年を取巻く有害環境等実態調査[調査期間]令和元年6月1日～6月30日 令和元年11月1日～11月30日 ・レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、有害図書販売店、携帯電話販売店など店舗の現状調査を6月及び11月に実施。 ・環境調査集計表、迷惑ビラ回収状況をホームページに掲載。 ○啓発事業強化月間の11月にJR尼崎駅周辺において、青少年に対する地域ぐるみでの見守りの重要性や不審者への対策等を周知するチラシを市民に向けて配付するなど有害環境の浄化を目的とした、青少年健全育成・非行化防止・環境浄化キャンペーンを実施。 ○青少年に悪影響を及ぼす有害図書等の回収を実施。 ＜有害図書類の回収＞回収期間：平成31年1月1日～令和元年12月末、累計：5,289冊(内ビデオ・DVD2,065点) ・市内6箇所(6行政区)に白ポストを設置。成人向け雑誌などの「有害図書類」を回収して青少年の有害環境浄化を実施。週に一度投函物を回収。 ・回収された投函物の分類や集計 兵庫県では、青少年愛護条例で、有害図書類の陳列の制限として①成人コーナーを設ける方法②一般図書類と距離を話す方法③一般図書類と仕切る方法④背表紙のみ見えるようにする方法⑤ビニール包装、紐かけ等の方法(上記の方法により、陳列が困難な場合)のいずれかの方法で陳列しなければならないこととなっており、有害図書類を販売する全ての店舗(コンビニも含む)が対象となっている。 県の依頼により、毎年11月の環境調査月間に本市少年補導委員が調査を実施しているが、市独自の取組として、少年補導委員の協力を得ながら、6月にもコンビニなどで有害図書類の陳列の有無等について調査をすることにより、より一層の環境浄化の向上に取り組んでいる。 ○5月 尼崎市少年補導委員を対象に兵庫県警 少年課 警部補 本田慎治氏を講師に「少年非行の現状と課題について」と題し研修会を実施。 ○各校区の健全育成会議等に担当する少年補導委員・教職OB嘱託員等が出席し、インターネットの危険性やスマホの使い方に関するチラシを、学校・保護者に配付・啓発を行う他、補導活動の一環として地域行事を通じてチラシを配布し市民への周知を行った。 ○少年補導委員による市域全体での青少年の見守り・補導活動を行う他、教職OB嘱託員等による補導活動において青少年について、学校、家庭と連絡を図り、指導を行った。</p>
前年30年度	<p>【学び支援課】 学校で使用するパソコンには、有害コンテンツフィルタの設定を行っている。有害情報に係るカテゴリーや削除フィルターの有効性を検証し、有害情報が適切に除去できているか適宜確認している。この機能を活用することで、児童生徒が性教育等に関する学習活動を行う場合でも、必要な情報を得ることも可能であり、正しい知識の習得につながっている。</p> <p>【社会教育課】 ○有害環境等実態調査を実施。 ・少年を取巻く有害環境等実態調査[調査期間]平成30年6月1日～6月30日 平成30年11月1日～11月30日 ・レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、有害図書販売店、携帯電話販売店など店舗の現状調査を6月及び11月に実施。 ・環境調査集計表、迷惑ビラ回収状況をホームページに掲載。 ○11月啓発事業として阪急塚田駅周辺において、市民に対してネットの危険性やフィルタリング強化等を周知するチラシを配布するなど有害環境の浄化を目的とした、青少年健全育成・非行化防止・環境浄化キャンペーンを実施。 ○健全育成会議等において、保護者に対してネットの危険性やフィルタリング強化を周知するチラシを配布し啓発に努めた。 ○青少年に悪影響を及ぼす有害図書等の回収を実施。 ＜有害図書類の回収＞回収期間：平成30年1月1日～12月末、累計：4,740冊(内ビデオ・DVD 2,087) ・市内6箇所(6行政区)に白ポストを設置。成人向け雑誌などの「有害図書類」を回収して青少年の有害環境浄化を実施。週に一度投函物を回収。 ・回収された投函物の分類や集計 兵庫県では、青少年愛護条例で、有害図書類の陳列の制限として①成人コーナーを設ける方法②一般図書類と距離を離す方法③一般図書類と仕切る方法④背表紙のみ見えるようにする方法⑤ビニール包装、紐かけ等の方法(上記の方法により、陳列が困難な場合)のいずれかの方法で陳列しなければならないこととなっており、有害図書類を販売する全ての店舗(コンビニも含む)が対象となっている。 県の依頼により、毎年11月の環境調査月間に本市少年補導委員が調査を実施しているが、市独自の取組として、少年補導委員の協力を得ながら、6月にもコンビニなどで有害図書類の陳列の有無等について調査をすることにより、より一層の環境浄化の向上に取り組んでいる。 ○5月 尼崎市少年補導委員を対象に兵庫県企画県民部女性青少年局青少年課青少年指導班 東浩太郎氏を講師に「青少年愛護条例の改正について」と題して研修会を実施。 ○10月 アルカイクホールオクトにおいて兵庫県青少年補導委員大会を実施。県内補導委員に対して弁護士 曾我 智史氏を講師に「虐待と非行のはざま」と題して研修会を実施。</p>

43 別紙

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局		総合政策局	課	広報課、ダイバーシティ推進課	事業番号	2211
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し					
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○					
施策の方向	1 広報啓発等を通じた男女共同参画の推進(メディアリテラシー含む)					
事業番号/事業名	2211 市報、市政TV、FM放送による広報、啓発					
事業内容	市報あまがさきをはじめ、あらゆる広報媒体を活用し、男女共同参画に対する理解を深める啓発を行う。					
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	<p>(課題)【広報課】紙媒体の広報物については、掲載するテーマが男女共同参画、DV、人権、福祉等数多くある一方、市の様々な情報を発信するためにはその掲載量に(電子媒体とは異なり)物理的な限界がある。 【ダイバーシティ推進課】市報等への掲載について、ページ数や機会に限界がある中で、啓発効果のある掲載方法等の工夫が必要である。 (今後の方向性)【広報課】インターネット媒体の活用が広まる中、引き続き、紙面で発信した方がわかりやすい情報については紙媒体を、そのほかの情報についてはホームページを活用するなど、目的に応じた有効な広報手段の使い分けや情報発信力の強化などを進めていくこととした。 【ダイバーシティ推進課】市報やホームページ等多様な媒体を活用し、男女共同参画に関する広報、啓発を行っていく。</p>					
参考	関連する計画					
実施内容 (DO)	<p>※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。</p>					
令和元年度	<p>【広報課】 ・市報掲載回数 44回 女性センター事業等を掲載。 ○市報掲載回数 44回の内訳 女性センター事業 42回 ・あまがさき女性フォーラム・あまがさき女性フェスティバル・男女共同参画市民企画講座を募集・その他女性のスキルアップ講座等 それ以外 2回 ・男女共同参画推進員の募集・男女共同参画事業者の認定</p> <p>【ダイバーシティ推進課】 ○令和2年2月の市報において『多様な「性」 誰もがじぶんらしく パートナーシップ宣誓制度がスタート!』として、多様な性について表紙他2ページの特集を組んだ。内容:「もっと知って欲しい、LGBTのこと」「パートナーシップ宣誓制度がスタート!」「公文書の性別記載欄削除」「ありのままを受け入れる世の中に(※トランスジェンダーで市内在住の方にインタビュー)」。 ○FMスポット放送 6月:女性の人権、8月:性的マイノリティについて、1日3回スポット放送した。</p>					
	<p>評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</p> <p>男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</p>					
前年30年度	<p>【広報課】 ・市報掲載回数 25回 女性センター事業等を掲載。 ・FM放送回数 1回 女性センター事業を案内。 ○市報掲載回数25回の内訳 女性センター事業 23回 ・あまがさき女性フォーラム・あまがさき女性フェスティバル・あまがさきまますえ・その他女性のスキルアップ講座等 それ以外 2回 【前からH30.5・12月号】 ・男女共同参画審議会委員募集・男女共同参画事業者募集 ○FM放送回数1回の内訳 女性センター事業の案内 1回 ・女性センターの職員が出演し、女性フェスティバルについて紹介。 ※29年度まで「市からのお知らせ」コーナーで様々なイベントを紹介していたが、30年度よりルールを変更し、市の新しい制度や制度の変更等を優先的に周知することとした。</p> <p>【ダイバーシティ推進課】 ○平成30年8月の市報において、男女共同参画審議会会長として男女共同参画計画などの策定に携わった立木茂雄氏の表彰について掲載した。また、11月号の市報においてPick up情報としてあまがさき女性フォーラムを掲載した。 ○FMスポット放送 平成30年6月18日(月)～24日(日)女性の人権について、31年1月21日(月)～27日(日)まで性的マイノリティについて、1日3回スポット放送した。</p>					
	<p>課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</p> <p>【広報課】 紙媒体の広報物については、掲載するテーマが男女共同参画、DV、人権、福祉等数多くある一方、市の様々な情報を発信するためにはその掲載量に(電子媒体とは異なり)物理的な限界がある。 【ダイバーシティ推進課】 令和元年度は表紙を含め特集を組むことができたが、市報等への掲載はページ数や機会に限界があり、毎年特集を組める訳ではない。</p>					
今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。		<p>【広報課】 インターネット媒体の活用が広まる中、引き続き、紙面で発信した方がわかりやすい情報については紙媒体を、そのほかの情報についてはホームページを活用するなど、目的に応じた有効な広報手段の使い分けや情報発信力の強化などを進めていくこととした。 【ダイバーシティ推進課】 市報のみならず、ホームページやFMなど多様な媒体を活用するほか、情報発信力を高めるデザイン等の見せ方を工夫するなど男女共同参画に関する広報、啓発を行っていく。</p>				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2212
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	男女共同参画や講座情報について、最新情報をわかりやすく情報発信していく必要がある。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	・広報誌『フェミナル』は特集の組み方などを工夫し、SNS発信とは違った紙面づくりを目指す。 ・今後も情報誌づくりセミナーやメディアリテラシー講座等を行い広く市民から市民編集サポーターを募集する。 ・ホームページは、最新の情報提供、見やすく閲覧できるように努める。				

事業概要	(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し	
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進	重点方針 <input type="radio"/>
施策の方向	1 広報啓発等を通じた男女共同参画の推進(メディアリテラシー含む)	
事業番号/事業名	2212 男女共同参画に関する情報の発信	
事業内容	情報誌「フェミナル」を作成・配布するとともに、ホームページ等で、女性センター事業や男女共同参画に関する施策、法令等・制度の情報をあらゆる年代にわかりやすく提供し周知を行う。また、情報発信の媒体の活用方法についても工夫していく。	
令和元年度に向けた方向性(PLAN)	(課題) 男女共同参画や講座情報について、分かりやすく興味をひく情報発信を行う必要がある。 (今後の方向性) ・広報誌『フェミナル』は特集の組み方などを工夫し、市民編集サポーターとともに特徴ある紙面づくりを続けていく。 ・今後も情報誌づくりセミナーやメディアリテラシー講座等を行い広く市民から市民編集サポーターを募集する。 ・ホームページは情報提供とともに閲覧しやすい環境を整えるよう努める。	
参考	関連する計画	
実施内容(DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。	
令和元年度	【女性センター】 ●情報誌 男女共同参画情報誌『フェミナル』を発行。市内公共施設、全国女性センター、市内小中高校、幼稚園等に配布し、ホームページにも掲載。 年2回発行 各4,000部 毎月時事にあった特集を組み読みやすく親しみやすい紙面構成を追及している。 64号「尼崎市長インタビュー」、65号「変わる保育事業」 市民協働の形式で編集サポーターの協力を得て、企画や取材を行った。 ●メールマガジン 毎月1日発行 ※登録者数319人 ●ホームページ 講座情報、スタッフブログ、新着図書情報、カフェブログなどほぼ毎日更新。 事業報告書をホームページに掲載。 ●フェイスブック 平成26年度から、テレビエの各種情報を発信している。 ●あまっこネット 講座情報を配信している。	
前年30年度	【女性センター】 ●情報誌 男女共同参画情報誌『フェミナル』を発行。市内公共施設、全国女性センター、市内小中高校、幼稚園等に配布し、ホームページにも掲載。 年2回発行 各4,000部 毎月時事にあった特集を組み読みやすく親しみやすい紙面構成を追及している。 62号「多様な性について、考えよう!」、63号「女性の参画を進めよう!」 市民協働の形として編集サポーターの協力を得て、企画や取材を行った。 ●メールマガジン 毎月1日発行 ※登録者数288人 ●ホームページ 講座情報、スタッフブログ、新着図書情報、カフェブログなどほぼ毎日更新。 30年度より、事業報告書をホームページに掲載した。 ●フェイスブック 平成26年度に開設し、テレビエの各種情報を発信している。 ●あまっこネット 講座情報を配信している。	

【第3次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2213
---	-------	---	------------	------	------

事業概要	(PLAN)
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="radio"/>
施策の方向	1 広報啓発等を通じた男女共同参画の推進(メディアリテラシー含む)
事業番号/事業名	2213 表現ガイドラインの活用とメディアリテラシーの普及
事業内容	男女共同参画の視点から適切な男女表現が行われるよう「男女表現ガイドライン」の活用を職員以外にも広く促進するとともに、性の商品化や性別役割分担意識を助長する表現などに対して、主体的に読み解く能力を身につけられるよう啓発を行う。
令和元年度に向けた方向性	(課題)【ダイバーシティ推進課】男女共同参画の視点をもった適切な表現については職員によって意識に差がある。 (今後の方向性)【ダイバーシティ推進課】 ・今後とも新規採用職員全員を対象とした研修を活用し、男女共同参画の視点から適切ではない表現について話し合うとともに、市職員として男女表現ガイドラインを意識した情報発信を行うよう促していく。 ・様々な機会をとりあえてガイドラインを活用した周知やアドバイスを行っていく。 ・男女共同参画に配慮したイラストの活用については、他自治体からの提供依頼にも応じていく。 (女性センター) ・性の商品化や性別役割分担意識を助長する表現などに対して、主体的に読み解く能力を身につけられるよう講座セミナーを通じて啓発を行っていく。 ・市民企画講座企画グループに、男女共同参画の視点からの表現について理解が深まるように努めていく。
(PLAN)	

考参	関連する計画
----	--------

実施内容	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。
令和元年度	【ダイバーシティ推進課】 表現ガイドラインについては平成27年3月に改訂を行った。 「気をつけて見よう」という標題で、「男女いずれかに偏った表現になっていませんか?」「性別によってイメージを固定化した表現になっていませんか?」など5つの視点に分けて記載。イラストも明るくポップなものにリニューアル。イラストは、使用に関する規約を守れば誰でも無料で使用でき、ダイバーシティ推進課に連絡をすれば、データでの提供を可能とした。 これまで、尼崎市職員が使用する掲示板に記載、企画管理課長会や職員研修にて周知し活用を依頼、県の男女共同参画ニュースや会議においても周知し、利用を促した。29年度は男女共同参画推進本部幹事会において、表現ガイドラインの周知を行った。 ・毎年、新規採用職員を対象とした男女共同参画についての研修において、身近にあるポスターやCMなどを使って男女共同参画の視点から適切ではない表現について話し合うとともに、市職員として男女表現ガイドラインを意識した情報発信を行うよう促している。 (女性センター) ・市民企画講座「メディアリテラシー教育 地域で家族と一緒に考えよう」を開催(講師:寺島絵里花 受講者数:24人) ・男女表現ガイドラインを館内に配架した。 ・市民企画講座等で採択された市民グループには、広報や講座実施の際に、男女共同参画の視点からの表現について周知を図っている。
前年30年度	【ダイバーシティ推進課】 策定から12年が経過していることから、内容をリニューアルし、職員へ改めて男女表現についての意識啓発を図るため、平成27年3月に改訂を行った。職員有志からなるワーキンググループで検討し、女性センター・トレビエや県立男女共同参画センターのアドバイスを受けて作成。 「気をつけて見よう」という標題で、「男女いずれかに偏った表現になっていませんか?」「性別によってイメージを固定化した表現になっていませんか?」など5つの視点に分けて記載。イラストも明るくポップなものにリニューアル。イラストは、使用に関する規約を守れば誰でも無料で使用でき、ダイバーシティ推進課に連絡をすれば、データでの提供を可能とした。 これまで、尼崎市職員が使用する掲示板に記載、企画管理課長会や職員研修にて周知し活用を依頼、県の男女共同参画ニュースや会議においても周知し、利用を促した。29年度は男女共同参画推進本部幹事会において、表現ガイドラインの周知を行った。 ・毎年、新規採用職員を対象とした男女共同参画についての研修において、身近にあるポスターやCMなどを使って男女共同参画の視点から適切ではない表現について話し合うとともに、市職員として男女表現ガイドラインを意識した情報発信を行うよう促している。 (女性センター) ・男女表現ガイドラインを館内に配架した。 ・市民企画講座等で採択された市民グループには、広報や講座実施の際に、男女共同参画の視点からの表現について周知を図っている。

評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓
を入れてください	

評価2	(CHECK) 数値目標										
目標項目											
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度					
目標値	達成年度	年度	30年度	元年度							
実績の評価	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考					
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考							

評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。
	男女共同参画の視点をもった適切な表現については職員によって意識に差がある。

今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。
	全職員に対して、男女共同参画の視点を持った適切な表現による情報発信が行えるよう、改めて男女共同参画ガイドラインの周知を実施していく。 ・今後とも尼崎市職員が使用する掲示板を活用し職員周知を図る。 ・新規採用職員全員を対象とした研修を活用し、男女共同参画の視点から適切ではない表現について話し合うとともに、市職員として男女表現ガイドラインを意識した情報発信を行うよう促していく。 ・様々な機会をとりあえてガイドラインを活用した周知や各所管課からの相談に応じるなどアドバイスを行っていく。 ・男女共同参画に配慮したイラストの活用については、他自治体からの提供依頼にも応じていく。 (女性センター) ・男女共同参画の視点からメディアリテラシーについて、講座、ギャラリー展示、ブックフェアを通じて啓発を行っていく。 ・市民企画講座企画グループに、男女共同参画の視点で、講座、チラシ等で表現に配慮することを啓発していく。

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局		総合政策局	課	広報課	事業番号	2214											
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか															
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し																
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○																
施策の方向	1 広報啓発等を通じた男女共同参画の推進(メディアリテラシー含む)																
事業番号/事業名	2214 広報媒体における人権に配慮した男女表現の推進																
事業内容	市が発信する広報や出版物において、「尼崎市男女表現ガイドライン」を活用するなど人権に配慮した男女表現を推進する。																
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	<p>(課題) 過去に市報の掲載内容について、男女比に偏りのある写真を掲載したことがあり、男女表現の配慮に欠けているのではないかと指摘があったことから、再発防止を図る必要がある。</p> <p>(今後の方向性) 引き続き課内の編集会議において市民等からの意見を共有し、掲載記事の主管課等へ取材を依頼する段階から、様々な年齢層や性別などを対象にすることを意識しながら記事作成等の事務を進めていく。また、写真撮影をはじめとした取材時においては、年齢層や性別のバランスなどに配慮しながら、市内で活躍している人や団体等が持つ魅力的な姿を紹介できるように努めていく。</p>																
参考	関連する計画																
実施内容 (DO)	<p>※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。</p>																
令和元年度	<p>・各課から男女表現に関する問い合わせがあった場合に、「男女表現ガイドライン」に沿ってアドバイスを行うとともに、パソコン配布職員が閲覧可能な「男女表現ガイドライン」の活用を促した。</p> <p>具体的には、「どの写真を載せたらよいか」という問い合わせに対し、「男女のバランスが偏ることがないよう、男女ともに映っているほうが好ましい。詳しい事例は男女表現ガイドラインに掲載しています」というアドバイスを行った。</p> <p>・市報に掲載する文章の表現やイラストについて、男女共同参画の視点に配慮した。</p>																
前年30年度	<p>・各課から男女表現に関する問い合わせがあった場合に、「男女表現ガイドライン」に沿ってアドバイスを行うとともに、パソコン配布職員が閲覧可能な「男女表現ガイドライン」の活用を促した。</p> <p>具体的には、「どの写真を載せたらよいか」という問い合わせに対し、「男女のバランスが偏ることがないよう、男女ともに映っているほうが好ましい。詳しい事例は男女表現ガイドラインに掲載しています」というアドバイスを行った。</p> <p>・市報に掲載する文章の表現やイラストについて、男女共同参画の視点に配慮した。</p>																
評価2 (CHECK) 数値目標	<p>目標項目</p> <table border="1"> <tr> <th>目標・実績</th> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>					目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度	実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度												
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考												
評価3	<p>(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</p> <p>男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</p>																
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。																
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。																
		過去に市報の掲載内容について、男女比に偏りのある写真を掲載したことがあり、男女表現の配慮に欠けているのではないかと指摘があったことから、再発防止を図る必要がある。															
		引き続き課内の編集会議において市民等からの意見を共有し、掲載記事の主管課等へ取材を依頼する段階から、様々な年齢層や性別などを対象にすることを意識しながら記事作成等の事務を進めていく。また、写真撮影をはじめとした取材時においては、年齢層や性別のバランスなどに配慮しながら、市内で活躍している人や団体等が持つ魅力的な姿を紹介できるように努めていく。															

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課、各地域課	事業番号	2221							
事業概要 (PLAN) 基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○ 施策の方向 2 学習活動を通じた男女共同参画の推進 事業番号/事業名 2221 男女共同参画セミナーの実施 事業内容 男女の固定的な役割分担意識を改め、男女共同参画社会づくりに資するセミナーを実施する。		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓										
令和元年度に向けた方向性 (PLAN) (課題)【ダイバーシティ推進課】(女性センター) 集客を意識しつつ啓発を進めたいテーマを選定することが必要である。 【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザでは、幅広い分野を対象とした事業を実施しており、各種事業を企画する際に、男女共同参画の視点を意識する必要がある。 (今後の方向性)【ダイバーシティ推進課】(女性センター) ・様々な分野で男女共同参画について考えていただけるよう、参加対象者を定めて事業を進めていきたい。 ・有益な講座を開催するために、関係機関と連携が必要であると考えている。今後もすべての啓発講座に関して講座ネーミングやチラシの工夫、また広く市民に興味を引くような仕掛けづくり、市内公共施設・学校・NPOなど他の団体と連携・共催していくことを積極的に取り組んでいく。 【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザの各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して事業を実施していく。		評価2 (CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>達成年度</td> <td>年度</td> <td>30年度</td> <td>元年度</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	30年度	元年度								
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考								
参考	関連する計画											
実施内容 (DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について										
令和元年度	別紙参照											
前年30年度	別紙参照	課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。 【女性センター】 現状を分析して、より啓発を進めたいテーマを選定すること。 【中央地域課】 父親の講座への参加が少なく、ニーズの把握など興味を引くような内容にしていく必要がある。 今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 【女性センター】 ・様々な分野の男女共同参画について考えられるよう、参加対象者を定めた事業、定めない事業に分け効果的に進めていきたい。 ・今後も様々な講座で、市内公共施設・学校・NPOなど他の団体と連携・共催して、広く市民に啓発をすすめていく。 【中央地域課】 父親だけ母親だけの参加にとらわれず、親子・家族で参加ができるような幅広い視点に立った講座の企画・実施の展開を図っていく。										

48 別紙

2221 別紙

実施内容	
令和元年度	<p>(女性センター)</p> <p>○「あまがさき女性フォーラム」を開催。(参加者数:のべ1,071人)男性17人 女性139人 不明915人</p> <p>ワークショップ:「フラワーデモ 性犯罪の無罪判決について考える」、「今後どうなる?日本の食の安全」、「年金制度!?ライフプランニング〜より良い人生を歩むために〜」「ギャラリー展」映画上映:「ハトル・オブ・ザ・セクシズ」</p> <p>○男女共同参画週間事業「多様化する家族 共に生きる地域」(講師:神原文子 受講者数:55人 男性3人 女性52人)</p> <p>○男女共同参画市民企画講座「外国籍女性への支援を通して見えてくること〜現状を聞き、問題点を知ろう〜」(講師:ピスカルド篤子 受講者数:35人 男性3人 女性32人)</p> <p>○男女共同参画市民企画講座「伝えてゆきたい 尼崎の記憶 昭和から令和へ 〜尼崎で働き、くらしてきた女性の郷土史研究者が語る〜」(講師:波間 美智子 受講者数:34人 男性8人 女性26人)</p> <p>○男女共同参画市民企画講座「メディアリテラシー教育 地域で家族と一緒に考えよう」(講師:寺島 絵里香 受講者数:24人 男性3人 女性21人)</p> <p>○あまがさき女性フェスティバル記念講演会「人生100年時代の女性たちへ」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>○「絵本でほっこりinカフェレビエ」(講師:NPO法人絵本で子育てセンター 受講者数:のべ74人 男性22人 女性52人)</p> <p>○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ56人 男性1人 女性55人)</p> <p>○「相談事業からみえる女性の状況〜女性センターに期待されるものは〜」(講師:岡本明子 受講者数:33人 男性3人 女性30人)</p> <p>○「第7回ジェンダー&アートツアー」(ファシリテーター:女性センター職員 受講者数:7人 女性7人)</p> <p>○「心地よくアサーティブに!〜自分も相手も大切にしたいコミュニケーション〜」(講師:NPO法人フェミニストカウンセラー神戸所属カウンセラー 受講者数:のべ120人 女性30人)</p> <p>○「DVにあった女性のための気づきと回復の講座&語り合い」全15回(講師:NPO法人フェミニストカウンセリング神戸・スタッフ、受講者のべ187人、対象:DV被害に遭った女性)</p> <p>○「デートDV予防啓発支援員養成セミナー」(講師:NPO法人レジリエンス、受講者39人 男性5人 女性34人)</p> <p>○じんけんスタディツアー「ストップDV〜DV加害者厚生プログラムを知ろう〜」(講師:伊田 広行、受講者数:77人 男性12人 女性65人)</p> <p>○「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援 ハバといっしょにクッキング!」(講師:小寺純子 参加者数:のべ12組26人 男性18人 女性8人)</p> <p>○「出張!女性のための働き方セミナー 働く女性のためのタイムマネジメント」(講師:森本 記子、受講者数:10人 女性10人)</p> <p>○「自分にあう就職先の見つけ方」(講師:田上明子、受講者数:26人 女性26人)</p> <p>○「こどもを預けて働く人のための知って安心最新保育事業」(講師:子ども何でも相談担当職員、受講者数:41人 男性7人 女性33人 不明1人) 他</p> <p>(地域総合センター)</p> <p>○「保健所の専門職が行う『性教育』の中身って?」(講師:健康増進課職員)</p> <p>○「学校での『性教育』について」(講師:学校教育課職員)</p> <p>○「学校現場からみえる、こどもたちの『性』をとりまく課題って?」(講師:中学校の養護教諭)</p> <p>【中央地域課】</p> <p>・ハバは太鼓の達人 2/23・3/1 2回実施 受講者6組(父親6人 子ども7人)</p> <p>(視点:仕事で子どもとあまり関わる時間が少ない父親に太鼓を通して親子の絆を深めてもらう。また、家族団らんのきっかけ・コミュニケーションのきっかけや太鼓の技術習得につなげる)</p> <p>・子どもを伸ばすために親ができること 2/4 受講者 女性20人</p> <p>(視点:いじめや人権問題、家庭における養育放棄や虐待等子どもたちが抱えている様々な課題に対して、子どもたちに自尊心を持たせ、親ができることを講座を通して考える)</p> <p>・夫源病 9/26 受講者10人(男性4人 女性6人)</p> <p>(視点:妻の体調不良の原因は大半が夫に原因があるとする「夫源病」この解消策を探り、健康で快適な老後の在り方を考える。)</p> <p>【生涯・学習! 推進課】みんなの尼崎大学オープンキャンパス「オトコとオンナ〜「らしさ」の呪いを解くために〜」を開催。受講者数:93人</p>
前年30年度	<p>【ダイバーシティ推進課】</p> <p>(女性センター)</p> <p>○「あまがさき女性フォーラム」を開催。(参加者数:のべ867人)男性28人 女性194人 不明645人</p> <p>ワークショップ:「話そう!男女共同参画ワールドカフェ 計21人 男性3人 女性18人」「防災体験ワークショップ〜家族で楽しく備えよう〜 計20人 男性4人 女性16人」、「大学生といっしょに考えるデートDV防止セミナー 計17人 男性1人 女性16人」「ギャラリー展」映画上映:「ドリーム」計86人 男性10人 女性72人 不明4人)</p> <p>○男女共同参画週間事業「ぶっちゃけ夫婦〜ク」(講師:露の団姫、参加者数:計141人 男性22人 女性116人 不明3人)</p> <p>○男女共同参画市民企画講座「アサーティブに!私の気持ちを伝えよう」(講師:NPO法人フェミニストカウンセリング神戸所属カウンセラー 参加者数:のべ120人 女性限定30人)</p> <p>○あまがさき女性フェスティバル記念講演会「地域で応援!シングル・シングルマザーの就労支援」(講師:佐々木妙月 参加者数:計57人 男性3人 女性53人 不明1人)</p> <p>○「働き方からみる経済学」(講師:渡辺裕子、笠井弘子 参加者数:のべ44人 女性限定22人)</p> <p>○「ワーク・ライフ・バランスを阻むものは〜若年男性の意識をめぐって〜」(講師:中里 英樹 参加者数:のべ27人 男性2人 女性25人)</p> <p>○「夫源病」(講師:石蔵文信 参加者数:20人 男性12人 女性8人)</p> <p>○「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援 ハバといっしょにクッキング!」(講師:小寺純子 参加者数:のべ12組28人 男性20人 女性8人)</p> <p>○「ハバの家事は家族を救う!〜より良いパートナーシップのために〜」(講師:和田のりあき 参加者数:5組8人 男性4人 女性9人)</p> <p>○「保育に携わる人のためのスキルアップ講座」(講師:辻由起子、トレビエ職員 参加者数:31人 男性0人 女性31人)</p> <p>○「ふきとばそう!保育所・児童ホームの不安」(講師:子ども何でも相談担当職員 参加者数:のべ46人 男性3人 女性43人)</p> <p>○「絵本でほっこりinカフェレビエ」(講師:NPO法人絵本で子育てセンター 参加者数:のべ59人 男性11人 女性48人)</p> <p>○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ71人 男性0人 女性71人)</p> <p>○「ハバのための子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:3人 男性3人)</p> <p>○「ジェンダー&アートカフェ」(講師:中西美穂 参加者数:8人 男性1人 女性7人) 他</p> <p>(地域総合センター)</p> <p>○地域総合センター「ぶっちゃけ夫婦と〜ク」(講師:露の団姫)</p> <p>○地域総合センター南武庫之荘「ハートフル・シネマ 人権問題市民啓発映画会 あした咲く」</p> <p>○地域総合センター水堂「初心者向け男のええ加減料理教室」(講師:石倉文信)</p> <p>○地域総合センター水堂「楽しい保育でライフの送り方」(講師:石倉文信)</p> <p>○地域総合センター神の島「露の団姫 落語&講演会」(講師:露の団姫)</p> <p>○地域総合センター神崎だよりにおいて「人権の獲得〜女性参政権の歴史〜」「史跡 遊女塚と女性の人権」を掲載</p> <p>【中央公民館】</p> <p>・ハバは太鼓の達人 2/23・2/24の2回実施。参加:1組(申し込みは3組)</p> <p>・親子ボランティア体験学習事業 8/6 受講者14人(男性3人 女性11人)※社会教育課との共催事業</p>

48 別紙

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2222
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
	を入れてください				
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
令和元年度	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	評価3				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
託児希望のある時間のみの従事になるほか、男女共同参画の視点をもった保育が必要であることから、育成、登録までには一定の期間を要する。					
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
・男女共同参画の視点を持った保育を周知するため、一時保育事業に携わる保育サポーターのスキルアップ講座を実施し、託児サポーターの求人について紹介をする等、人材の確保に努める。 ・通常の保育サポーター登録は、年1回であるが、保育サポーターからの紹介者に限っては、男女共同参画の視点での保育研修を随時行い、サポーター登録を行っていく。					

事業概要	(PLAN)																								
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し																								
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進				重点方針 <input type="checkbox"/>																				
施策の方向	2 学習活動を通じた男女共同参画の推進																								
事業番号/事業名	2222 男女共同参画の視点を持った保育サポーター制度の推進																								
事業内容	女性センターが実施する事業に子育て中の女性の参加を促進するため、男女共同参画の視点を持った保育サポーターによる託児を実施する。																								
令和元年度に向けた方向性	(課題)【女性センター】 女性センターの保育サポーターは基本的には保育士や幼稚園教諭等の資格を保有している方に登録していただいているが、保育サポーター登録者は高齢化、減少してきている。 (今後の方向性)・男女共同参画の視点ある保育を周知するため、一時保育事業に携わる保育サポーターのスキルアップ講座を実施し、受講者に託児サポーターの求人について紹介をする等、人材の確保に努める。 ・通常の保育サポーター登録は、年1回であるが、保育サポーターからの紹介者に限っては、男女共同参画の視点での保育研修を随時行い、サポーター登録を行っていく。																								
参考	関連する計画																								
実施内容	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。																								
令和元年度	【女性センター】 女性センターの保育サポーターは基本的には保育士や幼稚園教諭等の資格を保有している方に登録していただいている (1) 託児利用状況 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>午前</td> <td>午後</td> <td>夜間</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>1～2歳(人)</td> <td>141</td> <td>51</td> <td>10</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>3～6歳(人)</td> <td>36</td> <td>67</td> <td>10</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>177</td> <td>118</td> <td>20</td> <td>315 (内訳 相談45人、セミナー106人、就労支援講座42人、資格取得・スキルアップ講座114人)</td> </tr> </table> ・連絡シートを毎回作成し、保護者への連絡を密にしている (2) プラスワン保育 一時保育を利用しながら資格取得講座を受講した人に向け、講座終了後から資格試験までの期間に自主学習時間を確保することを目的として、一時保育を実施した。元年度の利用は8人。 (1)(2)ともに、28年度から託児料は無料とした。 (3) 保育サポーターのための研修(消防訓練、女性センター保育事業について等 受講者数:9人 女性9人)						午前	午後	夜間	合計	1～2歳(人)	141	51	10	202	3～6歳(人)	36	67	10	113	合計(人)	177	118	20	315 (内訳 相談45人、セミナー106人、就労支援講座42人、資格取得・スキルアップ講座114人)
		午前	午後	夜間	合計																				
1～2歳(人)	141	51	10	202																					
3～6歳(人)	36	67	10	113																					
合計(人)	177	118	20	315 (内訳 相談45人、セミナー106人、就労支援講座42人、資格取得・スキルアップ講座114人)																					
前年30年度	【女性センター】 女性センターの保育サポーターは基本的には保育士や幼稚園教諭等の資格を保有している方に登録していただいている (1) 託児利用状況 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>午前</td> <td>午後</td> <td>夜間</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>1～2歳(人)</td> <td>171</td> <td>64</td> <td>0</td> <td>235</td> </tr> <tr> <td>3～6歳(人)</td> <td>37</td> <td>59</td> <td>44</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>208</td> <td>123</td> <td>44</td> <td>375 (内訳 相談59人、セミナー146人、就労支援講座38人、資格取得・スキルアップ講座125人)</td> </tr> </table> ・連絡シートを毎回作成し、保護者への連絡を密にしている (2) プラスワン保育 一時保育を利用しながら資格取得講座を受講した人に向け、講座終了後から資格試験までの期間に自主学習時間を確保することを目的として、一時保育を実施した。30年度の利用は7人。 (1)(2)ともに、28年度から託児料は無料とした。 (3) 保育サポーターのための研修(消防訓練、女性センター保育事業について等 受講者数:19人 男性0人 女性19人)						午前	午後	夜間	合計	1～2歳(人)	171	64	0	235	3～6歳(人)	37	59	44	140	合計(人)	208	123	44	375 (内訳 相談59人、セミナー146人、就労支援講座38人、資格取得・スキルアップ講座125人)
	午前	午後	夜間	合計																					
1～2歳(人)	171	64	0	235																					
3～6歳(人)	37	59	44	140																					
合計(人)	208	123	44	375 (内訳 相談59人、セミナー146人、就労支援講座38人、資格取得・スキルアップ講座125人)																					

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	総合政策局	課	各地域課	事業番号	2223
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○				
施策の方向	2 学習活動を通じた男女共同参画の推進				
事業番号/事業名	2223 講座時の託児の実施				
事業内容	必要のある講座についてボランティアによる託児の実施に努める				
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題)(生涯、学習！推進課)子どもと一緒に講座を受講する際に講座に集中していただくよう、受講環境を整える必要のある講座について、対応していく必要がある。(今後の方向性)(生涯、学習！推進課)今後とも、他の受講者に配慮しつつ、生涯学習プラザの各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して、必要のある講座について託児の実施に努める。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	(武庫地域課) 「子どもと一緒にお片付け上手に！子どもがいても快適なお部屋作り」12/10 受講者29人 保育児童数12人 親が片付けるのではなく、親子で楽しみながら整理整頓を行うことを目指す講座。 保護者がゆっくり話を聞くために託児を実施した。 託児を行ったのは地域の有償ボランティアグループ。 (小田地域課) 講座名「子どものお片付けきほんのキ」 講座内容…育児中の保護者を対象に、子どもの「できた」という気持ちを尊重しつつ、片付けを促す方法についての講義を実施。 講師として招いたのは整理収納アドバイザーとして活躍する市内在住の主婦。保護者が講義に参加している間はボランティアによる託児を実施。参加者9名の内子ども連れでの参加は7名、託児ボランティアは2名。男女、子の年齢は問わず募集をしたが、参加者は未就学児を育てる女性のみであった。 【立花地域課】 ○子育て講座「たちばなボコアボくらす」#2ママヨガ&プレママ・ベビー交流会 受講者4人託児3人 ○子育て講座 夫婦のモヤモヤからパートナーシップを考える。参加者30人 託児あり(新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止)				
前年30年度	別紙参照	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について 課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。 (中央地域課) 託児付の講座は、資格者の配置や保険等の課題がある。 (武庫地域課)地域のボランティアグループメンバーが高齢化しており、同時に多人数の託児が難しいため、託児ボランティアへの参加啓発が必要。 (小田地域課)これまで地域で子育て支援を行っていた方の高齢化が進み、声掛けを行うも断られた。ボランティアセンターを通じて講座当日の託児ボランティアを募ったが少人数の応募となった。 (立花地域課)子育て世代の学習意欲を保障し、子育て支援者としての託児グループの発掘や育成も必要であると考える。			
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 (中央地域課)子どもと関わる時間には限りがあるため、託児付講座にこだわらず、親子で参加できる講座を企画していく(武庫地域課)有償でも託児を担ってもらえる地域人材の発掘に取り組んでいく。 (小田地域課)日頃の業務の中で子育て支援を行っている方とのつながりを作る、講座等を通して子育て支援ボランティアの育成を行う等、育児中の市民も安心して学びの場に参加することのできる環境作りを目指す。 (立花地域課)子どもと離れ、自分の時間を持つことで、子どもを見る視点に余裕が生まれることから、今後も子育て世代の学びを補修するため内容によっては託児付きの講座を企画する。				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	こども青少年課、総合政策局、健康福祉局	課	こども福祉課、ダイバーシティ推進課、各地域課、健康増進課	事業番号	2224
事業概要 (PLAN)	<p>基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し</p> <p>方針 2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○</p> <p>施策の方向 2 学習活動を通じた男女共同参画の推進</p> <p>事業番号/事業名 2224 子育て家庭に対する啓発</p> <p>事業内容 男女共同参画の視点に立った家庭生活が送れるよう、子育て家庭に対する講座を実施する。</p>				
令和元年度に向けた方向性	<p>(課題)【ダイバーシティ推進課】(女性センター)子育て家庭に対する啓発は、母親だけでなく、父親、祖父母にも共に行う必要がある。対象者について、パートナーと一緒に参加とすれば、受講参加はある一定数集まるが、男性に限定した講座の集客は難しい。</p> <p>【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザでは、幅広い分野を対象とした事業を実施しており、各種事業を企画する際に、男女共同参画の視点を意識する必要がある。</p> <p>【こども福祉課】在宅で子育てをしている保護者とその子どもが気軽に交流できる拠点事業や子育て支援に関する講座やイベントなどへの参加状況など、前年度と比べほぼ同程度であり、すこやかプラザやつどいの広場における子育て支援事業について、子育て中の親子に定着してきている。利用者の声も踏まえて、男性の参加も視野に、利用者のニーズに沿った講座やイベントも実施し、より一層の利用を促す必要がある。</p> <p>【健康増進課】市のマタニティセミナーの受講者が少ない。</p> <p>(今後の方向性)【ダイバーシティ推進課】(女性センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性が参加しやすくなるような、講座ネーミングや日時等、仕掛け方を検討していく。 ・子育てに関する事業はニーズが高い。家庭教育の中で男女共同参画の視点を持つことは重要であるため事業を継続して実施していく。 <p>【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザの各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して事業を実施していく。</p> <p>【こども福祉課】今後も利用者ニーズを把握しながら、男女共同参画の視点を意識した、事業の企画を行う。</p> <p>【健康増進課】妊娠から産後の切れ目ない支援につなげていくために、平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康支援包括支援センターの機能を付加した。産婦人科でのマタニティセミナーの受講状況を確認しつつ、今後も妊娠届出時に積極的にマタニティセミナーを勧めていく。</p>				
(PLAN)	<p>【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザの各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して事業を実施していく。</p> <p>【こども福祉課】今後も利用者ニーズを把握しながら、男女共同参画の視点を意識した、事業の企画を行う。</p> <p>【健康増進課】妊娠から産後の切れ目ない支援につなげていくために、平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康支援包括支援センターの機能を付加した。産婦人科でのマタニティセミナーの受講状況を確認しつつ、今後も妊娠届出時に積極的にマタニティセミナーを勧めていく。</p>				
考参	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)			
実施内容 (DO)	<p>※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。</p>				
令和元年度	別紙参照				
前年30年度	別紙参照				
評価1 (CHECK)	<p>男女共同参画の視点で事業を実施できたか</p> <p>実施できた項目に</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。(その他の特記事項) ↓ <p><input checked="" type="checkbox"/> を入れてください</p>				
評価2 (CHECK)	<p>数値目標</p>				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3 (CHECK)	<p>男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</p> <p>男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</p>				
課題 (CHECK)	<p>※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</p>				
今後の方向性 (ACTION)	<p>※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</p>				
【ダイバーシティ推進課】(女性センター)父親、祖父母など、母親以外への啓発の推進が必要である。					
【中央地域課】固定的な性別役割分担意識にとらわれない事業の企画を行っていく必要がある。					
【立花地域課】都市化や核家族化が進み、子育てに関する悩みや課題が多様化している。固定的な性別役割分担にとらわれない男女共同参画の視点に立った学びの場を提供していく。					
【こども福祉課】在宅で子育てをしている保護者とその子どもが気軽に交流できる拠点事業や子育て支援に関する講座やイベントなどへの参加状況など、前年度と比べほぼ同程度であり、すこやかプラザやつどいの広場における子育て支援事業について、子育て中の親子に定着してきている。利用者の声も踏まえて、男性の参加も視野に、利用者のニーズに沿った講座やイベントも実施し、より一層の利用を促す必要がある。					
【健康増進課】妊娠・出産に満足している割合の低下や子育てに自信のない人の割合が増加しており、妊産婦に寄り添い見守るなど切れ目ない支援が必要である。					
【ダイバーシティ推進課】(女性センター)					
・男性のニーズについて情報収集と子育て家庭が参加しやすい日時等で講座を開催していく。					
・家庭の中で知らぬ間に、ジェンダー規範が植え付けられていくことについて気づける講座を企画していく。					
【立花地域課】男女共同参画の視点に立ち、地域や事業所等多様な主体と連携・協働し学びと交流の場を提供する。					
【中央地域課】					
就園・就学前向けの講座は実施しているが、乳児向けの講座が少ないため、今後は妊娠～乳児向けの講座の展開を図っていく。					
【こども福祉課】今後も利用者ニーズを把握しながら、男女共同参画の視点を意識した、事業の企画を行う。					
【健康増進課】今後も妊娠届出時に男女共同参画の視点を持てるような面接を実施し、積極的にマタニティセミナーの受講を勧めていく					

51別紙①

2224 別紙

実施内容

令和
元
年度

- 【ダイバーシティ推進課】(女性センター)
 ○「あまがさき女性フォーラム」を開催。(参加者数:のべ1,071人)男性17人 女性139人 不明915人
 ワークショップ:「フラワーデモ 性犯罪の無罪判決について考える」、「今後どうなる?日本の食の安全」、「年金制度! ?ライフプランニング~より良い人生を歩むために~」「ギャラリー展」映画上映:
 「バトル・オブ・ザ・セクシーズ」
 ○あまがさき女性フェスティバル記念講演会「人生100年時代の女性たちへ」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 ○男女共同参画週間事業「多様化する家族 共に生きる地域」(講師:神原文子 受講者数:55人 男性3人 女性52人)
 ○男女共同参画市民企画講座「外国籍女性への支援を通して見えてくること~現状を聞き、問題点を知ろう~」(講師:ビスカルド篤子 受講者数:35人 男性3人 女性32人)
 ○男女共同参画市民企画講座「メディアリテラシー教育 地域で家族と一緒に考えよう」(講師:寺島 絵里香 受講者数:24人 男性3人 女性21人)
 ○「絵本でほっこりinカフェトレビエ」(講師:NPO法人絵本で子育てセンター 受講者数:のべ74人 男性22人 女性52人)
 ○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ56人 男性1人 女性55人)
 ○「心地よくアサーティブに! ~自分も相手も大切にしたいコミュニケーション~」(講師:NPO法人フェミニストカウンセラー神戸所属カウンセラー 受講者数:のべ120人 女性30人)
 ○「第7回ジェンダー&アートツアー」(ファシリテーター:女性センター職員 受講者数:7人 女性7人)
 ○「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援 パパといっしょにクッキング!」(講師:小寺純子 参加者数:のべ12組26人 男性18人 女性8人)
 ○「出張! 女性のための働き方セミナー 働く女性のためのタイムマネジメント」(講師:森本 記子、受講者数:10人 女性10人)
 ○「自分にあう就職先の見つけ方」(講師:田上明子、受講者数:26人 女性26人)
 ○「子どもを預けて働く人のための知って安心最新保育事業」(講師:子ども何でも相談担当職員、受講者数:41人 男性7人 女性33人 不明1人)
 ○「防災ふれあいフェスタ2020」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 他
- 【中央地域課】
 ・パパは太鼓の達人 2/23・3/1 2回実施 受講者6組(父親6人 子ども7人)
 (視点:仕事で子どもとあまり関わる時間が少ない父親を太鼓を通して親子の絆を深めてもらう。また、家族団らんのきっかけ・コミュニケーションのきっかけや太鼓の技術習得につなげる)
 【立花地域課】
 子育て世代を対象にした子育て講座として、子育て世代の交流の場を提供している。令和2年3月にNPO法人ファザーリングジャパンと連携し、パートナーシップを考える講座を企画していたが、コロナウイルス感染拡大予防のため中止となった。
 (参考)タイトル:夫婦のモヤモヤから「子育て・パートナーシップ」を考える 講師:NPO法人ファザーリングジャパン関西 佐伯 忠史
- 【こども福祉課】
 すこやかプラザ、つどいの広場で、子育てに関する講習会やイベントを実施したりすると共に、保護者からの相談に乗ったり、保護者同士の繋がりを広げ、情報交換や交流のできる関係性を作れるような場の提供を行い、家庭の子育て力の向上を図るとともに、子育てにおける不安の解消や、子育ての喜びを改めて感じるような意識啓発を行った。
 令和元年度実績
 ○ すこやかプラザ 子育て支援指定事業(実施回数、利用者数) 20回、423人
 ブックスタート(実施回数、利用者数) 11回、193人
 ファミリースクール(実施回数、利用者数) 20回、1,768人
 ○ つどいの広場(10か所合計) 子育て講習会及びイベント(実施回数、利用者数) 1,020回、15,399人
- 【健康増進課】
 ○ママやパパのためのマタニティセミナー
 (南北保健福祉センター地域保健課にて実施)妊娠期から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。
 ・妊娠期からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験・マタニティクッキング 65回(妊婦737人、夫383人、その他6人)
 ○休日版 パパのためのマタニティセミナー
 仕事等で平日のマタニティセミナーに参加できないパパのための育児教室、栄養教室や歯の教室を、日曜日に実施している。
 【回数】5回/年 【参加者】166人(妊婦86人 パートナー80人、先輩パパ3人、先輩ママ3人)
 ○ふたごのための育児教室
 【回数】5回/年 【参加者】37組97人

実施内容

前年
30
年度【ダイバーシティ推進課】
(女性センター)

- 「ワークライフバランスを阻むものは～若年男性の意識をめぐって～」(講師:中里英樹 参加者数:27人 男性2人 女性25人)
- 「パパのための子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ3人 男性3人)
- 「男女共同参画週間事業 ぶっちゃけ夫婦～ク」(講師:露の団姫、豊来家大治朗 参加者数:141人 男性22人 女性116人 不明3人)
- 「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援 パパといっしょにクッキング！」(講師:小寺純子 参加者数:12組28人 男性20人 女性8人)
- 「パパの家事は家族を救う！～より良いパートナーシップのために～」(講師:和田のりあき 参加者数:5組8人 男性4人 女性9人)
- あまがさき女性フォーラム「防災体験ワークショップ～家族で楽しく備えよう～」(講師:和田のりあき 参加者数:20人 男性4人 女性16人)
- 「第2回尼崎市防災セミナー『小さな命まもる家庭の備え ーママ・パパのための防災教室vol.3』(講師:あんどらりす、トレビエ職員、参加者数:46人 男性9人 女性37人)
- 「ふきとばそう！ 保育所・児童ホームの不安」(参加者数:のべ46人 男性3人 女性43人)
- 「働き方からみる経済学～ワークライフバランスと豊かな暮らし～」(講師:西村智 参加者数:25人 男性2人 女性23人)
- 「2019あまがさき女性フェスティバル記念講演 地域で応援！シングル・シングルマザーの就労支援」(講師:佐々木妙月 参加者数:57人 男性3人 女性53人 不明1人)
- 「子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ71人 男性0人 女性71人)
- 「絵本でほっこりinカフェ・トレビエ」(参加者数:のべ59人 男性0人 女性30人 子ども29人)
- ブックフェア「子育てパパのワーク・ライフ・バランス」
- ギャラリー展示「男性のワークライフバランス」

【中央公民館】

- ・子育て世代間交流事業(視点:男性の家庭・地域等への参画、促進に役立つものとして、子育てのコツ、子どもへの接し方、ネットワークづくり等)
- 実施回数:9回 参加人数223人(男性68人 女性155人)
- ・子育て講座(地域お出かけ事業)(視点:子ども理解のポイント、いじめ等に対する問題点、子育てへの対応 みんなで明るく健康的な子育てを)
- 実施回数:1回 参加人数18人(男性1人 女性17人)

【大庄公民館】

- ・子どもふれあいスクール事業(視点:男女問わず、子育て世代が子供が楽しむ講座を通して交流し、コミュニティを創出するもの)
- 音楽に親しみを 2回 59人(男性:16人、女性43人)、親子でヨガを楽しもう 2回 25人(男性:6人、女性:19人)
- ・子育て講座(視点:男女問わず、子育てでの不安や悩みを相談し、これからの子育てに前向きに励む。)
- 子育てなんでも相談 1回 3人(親:女性1人、子:男女2人)

【立花公民館】

- 立花(りっぱな)子育てひろげようサミット 回数1回 参加者13人(男性1人 女性12人)

【こども福祉課】

すこやかプラザ、つどいの広場で、子育てに関する講習会やイベントを実施したりすると共に、保護者からの相談に乗ったり、保護者同士の繋がりを広げ、情報交換や交流のできる関係性を作れるような場の提供を行い、家庭の子育て力の向上を図るとともに、子育てにおける不安の解消や、子育ての喜びを改めて感じるような意識啓発を行った。

平成30年度実績

- すこやかプラザ 子育て支援指定事業(実施回数、利用者数) 22回、451人
ブックスタート(実施回数、利用者数) 12回、162人
ファミリースクール(実施回数、利用者数) 20回、1,769人
- つどいの広場(10か所合計) 子育て講習会及びイベント(実施回数、利用者数) 947回、20,005人

【健康増進課】

- ママやパパのためのマタニティセミナー
妊娠期から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。
①妊娠期からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験・マタニティクッキング 74回(妊婦951人、夫154人、その他1人) 南北保健福祉センター地域保健課にて実施
- 休日版 パパのためのマタニティセミナー
仕事等で平日のマタニティセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。
【回数】2回/年
【参加者】149人(妊婦とパートナー55組110人、先輩パパ18人、先輩ママ21人)
- 休日版パパママセミナークッキング&オーラルケア
両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について夫婦対象に休日に開催した。
【回数】3回/年
【参加者】25組50人
- ふたごのための育児教室
【回数】5回/年
【参加者】20組69人

【第3次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

事業概要 (PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	3 男性の意識変革と生活自立
事業番号/事業名	2231 男性セミナーの実施
事業内容	固定的役割分担にとられない男性の生き方を考え、男女共同参画意識を普及するための講座を開催する。
令和元年度に 向けた 方向性 (PLAN)	<small>(課題)【ダイバーシティ推進課】(女性センター)男性セミナーは集客が難しいが、女性センターで講座を開催する意義は大きいと考えており、講座に男性を巻き込めるよう取り組む必要がある。 【生涯・学習！推進課】生涯学習プラザでは、幅広い分野を対象とした事業を実施しており、各種事業を企画する際に、男女共同参画の視点を意識する必要がある。 【こども福祉課】父親を対象とした子育て支援等に関する講座の参加状況など、前年度と比べほぼ同程度であり、当該事業について定着してきていると考えるが、より一層の利用を促していく必要がある。 【健康増進課】休日版パパとママのマタニティセミナーについては、申し込み開始より数日で30組を超えている。平日のマタニティセミナーは男性の参加が増加しているが、定員に達することはない。 (今後の方向性)【ダイバーシティ推進課】(女性センター)今後とも、男性の性別役割分担への意識改革のきっかけとなる啓発講座等を実施する。 【生涯・学習！推進課】生涯学習プラザの各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して事業を実施していく。 【こども福祉課】利用者ニーズを把握しながら、男女共同参画の視点を意識した、事業の企画を行う。</small>
参考	関連する計画
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。
令和元年度	別紙参照
前年30年度	別紙参照 【ダイバーシティ推進課】(女性センター)『男性のワーク・ライフ・バランスの見直しと推進』は30年度の重点課題とした。集客は難しく、セミナーのネーミング、チラシリード文、対象者や内容に家族を巻き込む工夫をしてセミナーを企画した。男性の長時間労働の問題解決のために、男女共同参画の視点が欠かせないこと、雇用形態の変化に伴う仕事と家庭の両立のためにも、家族全員で家事分担の見直しが必要なことなど、参加者アンケートには課題解決に対する気づきが多数記載され、企画において苦慮したが重点課題ではあったが、成果はあった。

局	総合政策局 こども青少年課	課	ダイバーシティ推進課、各地域課、 こども福祉課	事業番号	2231			
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか							
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓							
評価2	(CHECK) 数値目標							
目標項目	男性自身の意識変革のための男性セミナー実施数							
目標・実績	目標値	増加	達成年度	33年度	30年度	26回	元年度	17回
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考			
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容							
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について							
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。							
	【ダイバーシティ推進課】(女性センター)男性に限定したセミナーは、集客が難しい。 【中央地域課】中央地域課では幅広い分野を対象とした事業を実施しているが、一定の集客の見込める男性セミナー講座の企画に苦慮しているのが実態である。 【立花地域課】男性の育児休業所得率はH19 年1.56% H29 5.14%少しづつは増えているが、固定的な役割分担意識などから、子育ては主に女性が担っていることから、固定的な役割分担にとられない男性の男女共同参画の意識啓発が必要である。 【こども福祉課】父親を対象とした子育て支援等に関する講座の参加状況など、前年度と比べほぼ同程度であり、当該事業について定着してきていると考えるが、より一層の利用を促していく必要がある。 【健康増進課】マタニティセミナーについて男性の参加状況を確認し、両親そろっての参加がしやすいような回数や実施場所について検討する必要がある。							
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。							
	【ダイバーシティ推進課】(女性センター)男性自身がジェンダーについて気づきのきっかけとなる講座、男性の生きづらさを軽減する講座、パートナーと共に考える講座等を企画していく。 【中央地域課】今後、男性が参加しやすい内容と時間帯なども考慮し、事業の企画を行っていく。 【立花地域課】家庭でのお互いの役割分担などパートナーシップを考えたり、男性の子育て力の向上のための学びや交流の場を提供する。 【こども福祉課】利用者ニーズを把握しながら、男女共同参画の視点を意識した、事業の企画を行う。 【健康増進課】休日版マタニティセミナーについて、医療機関や関連機関の両親教室について男性の参加状況を確認するとともに、両親そろっての参加がしやすいような回数や実施場所について検討する。							

52 別紙①

2231 別紙

実施内容

令和
元
年度

【ダイバーシティ推進課】(女性センター) (女性センター)

- 男女共同参画週間事業「多様化する家族 共に生きる地域」(講師:神原文子 受講者数:55人 男性3人 女性52人)
- 男女共同参画市民企画講座「メディアリテラシー教育 地域で家族と一緒に考えよう」(講師:寺島 絵里香 受講者数:24人 男性3人 女性21人)
- 「絵本でほっこりinカフェレビエ」(講師:NPO法人絵本で子育てセンター 受講者数:のべ74人 男性22人 女性52人)
- 「子どもを預けて読書でリラックスタイム」※8月はパパ優先枠を設けた(参加者数:のべ56人 男性1人 女性55人)
- 「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援 パパといっしょにクッキング!」(講師:小寺純子 参加者数:のべ12組26人 男性18人 女性8人)
- 「こどもを預けて働く人のための知って安心最新保育事業」(講師:子ども何でも相談担当職員、受講者数:41人 男性7人 女性33人)
- 「防災ふれあいフェスタ2020」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 他
- ブックフェア「多様化する家族 共に生きる地域」「レッツシェア!家事」
- ギャラリー展示「男女共同参画週間 地域連携」

【中央地域課】

- ・パパは太鼓の達人 2/23・3/1 2回実施 受講者6組(父親6人 子ども7人)
- (視点:仕事で子どもとあまり関わる時間が少ない父親に太鼓を通して親子の絆を深めてもらう。また、家族団らんのきっかけ・コミュニケーションのきっかけや太鼓の技術習得につなげる)

【立花地域課】

- 夫婦のモヤモヤから「子育て・パートナーシップ」を考える
内容:夫婦がパートナーとして子育てにおける役割分担などについて学ぶ場や子育て世代の交流の場を提供し、各家庭のスタイルで協力しながら子育てについて考える講座を企画
日程:3月1日(土)7日(土)定員30人 ※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

【こども福祉課】

父親を対象とした子育て支援等に関する講座を実施し、父親の子育てへの参加の意識づくりを図るとともに、家庭で男女が協力して子どもを育てる責任を果たすこと、また子育てを喜びと感ずることへの意義等に関する意識啓発を行った。

令和元年度実績

- すこやかプラザ 「パパのためのマタニティセミナー」「パパとふれあい広場」等父親の育児参加促進と父親同士の交流を実施
「パパとふれあい広場」月1回日曜日、551人
「パパのためのマタニティセミナー」年2回、119人
- つどいの広場 父親対象のイベントを開催し、父親の育児参加促進と父親同士の交流を実施
「パパも一緒にクリスマス会」59人

【健康増進課】

- ママやパパのためのマタニティセミナー
(南北保健福祉センター地域保健課にて実施)妊娠期から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。

・妊娠期からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験・マタニティクッキング 65回(妊婦737人、夫383人、その他6人)

- 休日版 パパのためのマタニティセミナー

仕事等で平日のマタニティセミナーに参加できないパパのための育児教室、栄養教室や歯の教室を、日曜日に実施している。

【回数】5回/年

【参加者】166人(妊婦 86人 パートナー 80人、先輩パパ 3人、先輩ママ 3人)

52 別紙①

52 別紙②

2231 別紙

<p>前年 30 年度</p>	<p>【ダイバーシティ推進課】 (女性センター) 男性セミナーは30年度の重点課題のテーマとした ○「ワークライフバランスを阻むものは～若年男性の意識をめぐって～」(講師:中里英樹 参加者数:27人 男性2人 女性25人) ○「パパのための子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ3人 男性3人) ○「男女共同参画週間事業 ぶっちゃけ夫婦～」(講師:露の団姫、豊来家大治朗 参加者数:141人 男性22人 女性116人 不明3人) ○「夫源病」(講師:石蔵文信 参加者数:のべ20人 男性12人 女性8人) ○「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援 パパといっしょにクッキング！」(講師:小寺純子 参加者数:12組28人 男性20人 女性8人) ○「パパの家事は家族を救う！～より良いパートナーシップのために～」(講師:和田のりあき 参加者数:5組8人 男性4人 女性9人) ○あまがさき女性フォーラム「防災体験ワークショップ～家族で楽しく備えよう～」(講師:和田のりあき 参加者数:20人 男性4人 女性16人) ○「第2回尼崎市防災セミナー『小さな命まもる家庭の備え ーママ・パパのための防災教室vol.3』(講師:あんどうりす、テレビエ職員、参加者数:46人 男性9人 女性37人) ○「ふきとばそう！保育所・児童ホームの不安」(参加者数:のべ46人 男性3人 女性43人) ○「働き方からみる経済学～ワークライフバランスと豊かな暮らし～」(講師:西村智 参加者数:25人 男性2人 女性23人) ○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ71人 男性0人 女性71人) ○「絵本でほっこりinカフェ・テレビエ」(参加者数:のべ59人 男性0人 女性30人 こども29人) ○ブックフェア「子育て・パパのワーク・ライフ・バランス」 ○ギャラリー展示「男性のワークライフバランス」</p> <p>【中央公民館】 ・パパは太鼓の達人(視点:仕事であまり子どもと関わる時間のない父親を太鼓を通して親子の絆を深めてもらう。) 2/23・2/24の2回実施。参加:1組(申し込みは3組)</p> <p>【武庫公民館】 ・育メンスイッチセミナー 1/19、2/2実施分 参加者15人</p> <p>【こども福祉課】 父親を対象とした子育て支援等に関する講座を実施し、父親の子育てへの参加の意識づくりを図るとともに、家庭で男女が協力して子どもを育てる責任を果たすこと、また子育てを喜びと感ずることへの意義等に関する意識啓発を行った。 平成30年度実績 ○すこやかプラザ「パパのためのマタニティセミナー」「パパとふれあい広場」等父親の育児参加促進と父親同士の交流を実施 「パパとふれあい広場」月1回日曜日、700人 「パパのためのマタニティセミナー」年2回、134人 ○つどいの広場 父親対象の講座やイベントを開催し、父親の育児参加促進と父親同士の交流を実施 「パパのベビーマッサージ」48人 「パパも一緒にクリスマス会」55人</p> <p>【健康増進課】 ○ママやパパのためのマタニティセミナー (南北保健福祉センター地域保健課にて実施)妊娠期から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。62回(妊婦703人、夫361人) ○休日版パパのためのマタニティセミナー 仕事等で平日のマタニティセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。 【内 容】①パパの妊婦体験 ②育児体験(オムツ交換・ミルクの飲ませ方・着替えの仕方など) ③先輩パパ・ママの出産・子育て体験談を聞いてみよう 【回 数】2回/年 【参加者】149人 ○休日版マタニティセミナー(クッキング&ブラッシング) 両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について、夫婦対象に休日に開催した。 【回 数】4回/年 【参加者】25組50人</p>
-------------------------	---

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局		総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2241									
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか													
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し														
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○														
施策の方向	4 男女共同参画に関する情報資料の収集・提供														
事業番号/事業名	2241 男女共同参画に関する図書・資料の収集・提供														
事業内容	市民の男女共同参画への理解を深めるため、女性センターの情報資料室において諸外国の男女共同参画に関する情報も含めた啓発資料等を収集し、提供する。														
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題)【女性センター】「尼崎市の女性の歴史に関する史料収集、デジタルアーカイブ化」の取組を進めているが、何をどのようにアーカイブ化するかを選定、データ入力のための人員、費用等が必要なため、優先順位をつけて取り組む必要がある。 (今後の方向性)・尼崎市の女性たちの活動の記録を今後も収集・保存していく。 ・情報資料室がより多くの人に利用されるように、利用者の意見を聞きながら運営を行う。 ・男女共同参画推進のための図書、資料を計画的に増やし充実させる。 ・バスファインダー(図書の探し方案内)を順次改定して発行する。 ・デジタルアーカイブは、「日本女性会議'98あまがさき」について取り組む。														
参考	関連する計画														
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。														
令和元年度	【女性センター】 男女共同参画に関する図書・視聴覚資料・行政資料などを収集し、閲覧、貸出しを行うとともに、各種情報相談に応じた。 ・蔵書数:8,867冊(増加冊数 256冊、除籍冊数24冊) ・利用状況 図書資料の貸出冊数 2,919冊 視聴覚資料の貸出本数10本、利用人数 971人(新規登録者数 98人) ○ブックフェアの開催 12回 「多様な性にYESの日」「女性の働き方」「男女共同参画週間 多様化する家族 共に生きる地域」「顔が表紙の本」「デートDV予防」「レッツシェア!家事」「ピンクリボンキャンペーン ~月1回のセルフチェックからはじめよう~」「2019あまがさき女性フォーラム」「チャレンジする女性たち ~トライやる実習生企画展示~」「阪神淡路大震災から25年」「DVと児童虐待」「あまがさき女性フェスティバル」 ○センター主催事業講座受講者に向けた情報資料の案内となる情報ピックアップを発行。330号~351号 ○学習情報の提供、図書資料紹介、男女共同参画に関する問合せについて情報相談(レファレンス)を行っている。 また情報資料室内には仕事・再就職・資格取得等の情報を集めた「あまがさき女性チャレンジひろば」を設置し、情報提供を行っている。 ○「絵本でほっこりinカフエトレピエ」を毎月一回実施(受講者数:のべ74人)託児無料 ○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」を毎月一回実施(参加者数:のべ56人)託児無料 ○「尼崎市の女性の歴史に関する史料収集、デジタルアーカイブ化」の取組を進めている。 ○情報資料室で保管しているVHS、カセットテープなどデジタル化はすべて完了(平成30年度)														
前年30年度	【女性センター】 男女共同参画に関する図書・視聴覚資料・行政資料などを収集し、閲覧、貸出しを行うとともに、各種情報相談に応じた。 ・蔵書数:8,635冊(平成30年度増加冊数 275冊、除籍冊数66冊) ・利用状況 図書資料の貸出冊数 3,112冊 視聴覚資料の貸出本数29本、利用人数 1,010人(新規登録者数 108人) ○ブックフェアの開催 12回 「あたらしい本」「女性の働き方」「子育てパパのワーク・ライフ・バランス」「男女共同参画週間 パートナーシップを考える」「日本女性会議'98あまがさきから20年」「多様な性について考えよう!」「ピンクリボンキャンペーン ~月1回のセルフチェックからはじめよう~」「パープルリボン 女性に対する暴力をなくす運動」「2018あまがさき女性フォーラム」「防災・減災を考えよう! ~2018年におきた災害をふりかえって~」「アサーティブに!私の気持ちを伝えよう!」「あまがさき女性フェスティバル」 ○センター主催事業講座受講者に向けた情報資料の案内となる情報ピックアップを発行。307号~329号 ○学習情報の提供、図書資料紹介、男女共同参画に関する問合せについて情報相談(レファレンス)を行っている。 また情報資料室内には仕事・再就職・資格取得等の情報を集めた「あまがさき女性チャレンジひろば」を設置し、情報提供を行っている。 ○「パパのための子どもを預けて読書でリラックスタイム」を実施(参加者数:3人)託児無料 ○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」を毎月一回実施(参加者数:のべ71人)託児無料 ○「絵本でほっこりinカフエトレピエ」を毎月一回実施(参加者数:のべ59人) ○バスファインダー(図書の探し方案内)「DV」「男性の悩み」「母娘」「離婚とシングルマザー」改定版を発行。 ○「尼崎市の女性の歴史に関する史料収集、デジタルアーカイブ化」の取組を進めている。 ○情報資料室で保管しているVHS、カセットテープなどデジタル化はすべて完了。														
評価2 (CHECK) 数値目標	目標項目 目標・実績 <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					目標値	達成年度	年度	30年度	元年度					
目標値	達成年度	年度	30年度	元年度											
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った <input type="checkbox"/> 備考														
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について														
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。														
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。														
【女性センター】	情報資料室の書棚に限りがあるため、書籍選びと購入計画が難しい。 【女性センター】 ・ホームページで蔵書検索、新着図書、おすすめ本等、発信していく。 ・尼崎市の女性たちの活動の記録を今後も収集・保存していく。 ・情報資料室がより多くの人に利用されるように、他施設のライブラリーや利用者の意見等を参考に運営を行う。 ・男女共同参画推進のための図書、資料を計画的に除籍をしながら購入して充実させる。 ・バスファインダー(図書の探し方案内)を順次改定して発行する。														

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	教育委員会事務局	課	中央図書館	事業番号	2242
事業概要 (PLAN)	基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○ 施策の方向 4 男女共同参画に関する情報資料の収集・提供 事業番号/事業名 2242 図書館での情報提供 事業内容 図書館及び生涯学習プラザ図書室において、男女の人権の尊重など男女共同参画に関する図書を提供する。 令和元年度に向けた方向性 (PLAN) (課題) 図書館利用者に対し、男女共同参画について積極的に考える機会を提供する必要がある。(今後の方向性) 今後も男女共同参画に関する新しい資料の収集やレファレンスに努める。				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	・男女共同参画白書等の図書の提供。 ・ダイバーシティ推進課等から配布されるパンフレット、チラシ等を設置し図書館利用者に啓発を行った。 <中央図書館での取り組み> ・特集設置(中央図書館2階エントランスにて実施) ①テーマ:「人権週間」5月23日～6月12日 ②テーマ:「男女共同参画」6月12日～8月1日 ③テーマ:「人権推進強調月間」8月1日～9月5日 ④テーマ:「緒方貞子追悼と国連人権」11月15日～1月5日 ⑤テーマ:「母語の本」2月15日～3月6日 ⑥「テーマ阪神淡路大震災から25年～男女共同参画の視点で防災・減災を考えよう～」2月28日～3月25日 ※女性センター・トレビエと共同展示 ⑦テーマ:「国際人種差別撤廃デー」3月6日～3月27日 <北図書館での取り組み> ①「育児」「仕事」などのテーマを含む バスファインダー(調べ方案内)の改訂 7月 ②講座時の一時保育の実施(※新型コロナウイルス感染症の影響により中止)3月14日				
令和元年度	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
前年30年度	<2館共通の取り組み> ・男女共同参画白書等の図書の提供。 ・ダイバーシティ推進課等から配布されるパンフレット、チラシ等を設置し図書館利用者に啓発を行った。 <中央図書館での取り組み> ・展示(中央図書館2階エントランスにて実施) ①テーマ:「LGBTIについて考えてみませんか？」平成4月1日～4月6日 ②テーマ:「人権週間」令和5月8日～5月26日 ③テーマ:「男女共同参画」令和6月9日～6月14日 ④テーマ:「人権」令和8月15日～9月14日 ⑤テーマ:「女性に対する暴力」令和10月25日～11月30日 ⑥テーマ:「人権について」令和11月25日～12月20日 ⑦テーマ:「ダイバーシティ」令和1月20日～3月6日 ⑧テーマ:「国際婦人デー」令和2月12日～3月12日 <北図書館での取り組み> ・職員研修(全員参加) テーマ「ダイバーシティ社会に向けて図書館員が心掛けること」前半 平成30年5月31日 後半 平成30年9月27日 ・講座時の一時保育の実施平成30年10月7日7 ・展示(北図書館玄関ロビーにて実施)テーマ「国際女性デー」平成31年3月8日～3月31日				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取り組みの方向性を記載してください。				
今後の方向性	今後も男女共同参画に関する新しい資料の収集やレファレンスに努める				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2251																
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。(その他の特記事項) ↓																				
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し																				
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進				重点方針 <input type="checkbox"/>																
施策の方向	5 女性団体・グループの支援とネットワークの推進																				
事業番号/事業名	2251 男女共同参画を推進する団体・グループの支援と連携の推進																				
事業内容	男女共同参画の推進と女性の自立、社会参加等を支援するため、多くの市民が参加できるフォーラムを開催し、団体・自主グループの育成と相互の連携を図る。また、これまでの「女性フェスティバル」のような取組に加え、女性同士の交流の場を提供し、ネットワークづくりを支援する取組を行う。																				
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題)個々のグループだけで活動しがちになるグループに、テレビ活動登録団体や女性団体協議会等に参加を促し、様々な団体と協働等による参画を進めていくことは、大変難しい。 (今後の方向性)・様々なグループが交流する機会を増やし連携のメリットを伝えていく。 ・地域へ男女共同参画を浸透させるために、団体・グループとの連携、協働を進める。女性センターだけではできない事業も、様々な団体と協働することで可能となる、また、逆に団体・グループだけではできないことも可能になることを伝えていく。 ・現在実施している事業の継続のほか、今後も団体への協力ができるよう柔軟に対応していく。 ・様々な団体・グループとの協働の在り方についても随時見直しながら支援を行う。 ・グループのエンパワメントにつながる市民企画講座ができることを伝えて支援を行う。																				
参考	関連する計画																				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。																				
令和元年度	【女性センター】 【団体・グループへの支援】 (1)自主グループ(テレビエで実施した講座の受講者などが引き続き活動している団体。3団体) 支援内容:保育は無料で実施 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 (2)活動登録団体(テレビエを拠点として「男女共同参画社会の実現」をめざして活動している団体。11団体) 支援内容:部屋代年2回無料使用 / HPでの活動紹介 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 【連携の推進】 ○あまがさき女性フェスティバル ※尼崎市女性団体協議会が中心となり実行委員会を構成。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ○あまがさき女性フォーラム ※活動登録団体他のグループの参画のもと企画運営委員会を構成。 ワークショップ3講座、午前の発表会、映画の開催 ○市民企画講座の実施 連携を密にしながら企画と当日の運営に参画。4企画開催 ○絵本でほっこりinカフェ・テレビエの実施 月1回絵本の読み聞かせ、子育て中の方の閉塞感の軽減につながる交流の場 ○子ども食堂の実施 テレビエを会場とした学習支援に来ている小・中学生と保護者、支援者を対象に交流の場を提供。 ○文部科学省主催の女性の「学ぶ・働く・生きる」応援フェスタ2020に参加し、全国の女性を支援する団体と連携強化																				
前年30年度	【女性センター】 【団体・グループへの支援】 (1)自主グループ(テレビエで実施した講座の受講者などが引き続き活動している団体。4団体) 支援内容:保育は1年間、無料で実施 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 (2)活動登録団体(テレビエを拠点として「男女共同参画社会の実現」をめざして活動している団体。11団体) 支援内容:部屋代年2回無料使用 / HPでの活動紹介 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 【連携の推進】 ○あまがさき女性フェスティバル ※尼崎市女性団体協議会が中心となり実行委員会を構成。 ○あまがさき女性フォーラム ※活動登録団体他のグループの参画のもと企画運営委員会を構成。 ワークショップ3講座、午前の発表会、映画の開催 ○市民企画講座の実施 連携を密にしながら企画と当日の運営に参画。1企画開催 ○絵本でほっこりinカフェ・テレビエの実施 月1回絵本の読み聞かせを実施、子育て中の方の閉塞感の軽減につながる交流の場を提供 ○子ども食堂の実施 テレビエを会場とした学習支援に来ている小・中学生と保護者、支援者を対象に交流の場を提供。 ○チアフルワークフェスタ&あまままるしえへの参画を起業支援として実行委員会と協働を行った。 ○大井戸公園とテレビエで開催する「あまままるしえ」への参画を起業初心者に支援し実行委員会と協働を行った。																				
評価2 (CHECK) 数値目標	目標項目 女性のネットワークづくりを支援するための交流事業数 目標・実績 <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>年2回以上</th> <th>達成年度</th> <th>33年度</th> <th>30年度</th> <th>2回</th> <th>元年度</th> <th>2回</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td></td> <td>備考</td> <td colspan="2">女性フォーラム、女性フェスティバル</td> </tr> </table>					目標値	年2回以上	達成年度	33年度	30年度	2回	元年度	2回	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った		備考	女性フォーラム、女性フェスティバル	
目標値	年2回以上	達成年度	33年度	30年度	2回	元年度	2回														
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った		備考	女性フォーラム、女性フェスティバル															
評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について																				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。																				
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。																				
	・地域へ男女共同参画を浸透させるために、団体・グループとの連携、協働を引き続き進める。女性センターだけではできない事業も、様々な団体と協働することで可能となり、逆にグループ単体だけではできないことも可能になることを伝えていく。 ・グループのエンパワメントにつながる市民企画講座に応募を促し、支援を行っていく。																				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	教育委員会事務局	課	社会教育課	事業番号	2252
事業概要 (PLAN)	基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○ 施策の方向 5 女性団体・グループの支援とネットワークの推進 事業番号/事業名 2252 地域の女性団体への支援 事業内容 女性の地位向上と地域コミュニティ作りのための地域活動を展開している尼崎市連合婦人会を補助する。 令和元年度に に向けた 方向性 (PLAN) (課題) 助成金を活用した各地域での婦人会活動がより充実するよう工夫が必要である。 (今後の方向性) 活動内容を整理し、助成金を活用した活動の活性化につながるよう、事務局と連携し、婦人会活動を支援する。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	《補助活動》 わくわく事業(令和元年度より地域事業から名称変更) 地域社会の特性を生かした連携・共催事業並びに会員相互の資質向上に係る事業 《目的》 地域力の向上と協働参画の機運が高まるなかで、単位婦人会が地域社会の特性を生かした事業を実施し、生きがいとうるおいのある明るい地域社会の創生をめざし、地域の人々との交流を図り、地域活性化を図る。 《活動内容》 ・地域関係団体と連携した環境美化活動・・・清掃ボランティア、植樹・花の手入れなど ・地域関係団体が行う地域活動への支援・共催活動・・・地域神社祭り・地藏盆祭り・だんじり祭り補助など ・地域防災・健康(心・身体)増進のための活動・・・大型地震などについての研修会、親子防災教室、健康体操教室、音楽療法教室実施 ・地域福祉増進のための活動・・・地域の子ども見守り事業、敬老を祝うための事業、炊き出しの実施など				
前年30年度	補助活動 ○地域事業 《目的》地域力の向上と協働参画の機運が高まるなかで、単位婦人会が他の関係団体と協調しながら地域社会の特性を生かした連携・共催事業を実施し、生きがいとうるおいのある明るい地域社会の創生をめざし、婦人会が中心となって地域に共通する課題を協力して解決するよう、地域の人々との交流を図り、地域の活性化を図る。 《内容》地域関係団体と連携した環境の美化や地域の活性化を進めるための活動 ・地域関係団体が行う各種地域活動に対する支援及び共催活動・地域行政活動に対する積極的な協働参画活動・地域コミュニティを支えるリーダーを育てるための活動・地域で子どもを見守り、育てるための活動・高齢者への支援など地域福祉の増進のための活動 ・自然環境や地域環境保全のための活動・健康(心、身体)増進のための活動・その他、地域力の向上に資する活動に対する支援、地域活性化のための活動				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	婦人会の会員が高齢化しており、それに伴い会員数及び単位婦人会が減少している。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	婦人会の地域活動を通して地域のサークル、自主学习グループや学校(PTA)等の地域団体との連携が図れるよう支援する。				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2311										
事業概要 (PLAN) 基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 3 地域コミュニティにおける男女共同参画の推進 重点方針 施策の方向 1 市民による地域での男女共同参画の促進 事業番号/ 事業名 2311 男女共同参画推進員(地域)の活動の促進 事業内容 身近な地域・職場など様々な場で、男女共同参画に関する講座や相談窓口等の情報提供を行う推進員を支援する。		評価1 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓													
令和元年度に 向けた 方向性 (PLAN) (課題) 男女共同参画推進員(市民公募)の意欲や適性にあわせた活動の場づくりなど効果的な方法を検討する必要がある。(今後の方向性) 令和元年度に委嘱の男女共同参画推進員については、既に男女共同参画の視点を取り入れた防災の啓発講師を行っている方、性的マイノリティに関する啓発を行っていききたい方、今から男女共同参画について勉強していききたい方と、意欲や能力が人によって様々のため、まずは意見交換の機会を増やし、お互いのことをよく知るとともに、お互いが持っている知識を共有し男女共同参画に関する学びを深めるための勉強会を行っていく。また、令和元年度においては、性的マイノリティに関する啓発物を作成したいというご意見をいただいたこともあり、企画会議を設け、啓発物を作成する。		評価2 (CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>				目標値	達成年度	年度	30年度	元年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	30年度	元年度											
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考											
参考	関連する計画														
実施内容 (DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 令和元年度 元年度は市民公募8名、民生児童委員6名、男女共同参画推進事業者29名に推進員に委嘱した。 ・市民委員について、「男女共同参画について」「女性センターテレビエの事業内容について」として研修会を実施したほか、男女共同参画の視点を取り入れた防災の勉強会を実施した。 また、推進員からの性的マイノリティに関する啓発物を作成したいとの意見をもとに、「性の多様性に関する部会」を4回開催し、啓発イラストを作成し、パートナーシップ宣誓制度リーフレットに掲載し、広く啓発を図った。 ・民生児童委員から推薦いただいた6名については、DV被害者に接する可能性のある団体の方が、被害者を早期に相談機関へ繋げるために、対応の流れや相談窓口をまとめた「DV防止リーフレット」を活用し、DV被害者を早期に相談機関へ繋げるよう協力を求めた。また、女性センターで開催される講座を民生児童委員内で周知いただき、参加を促していただいた。													
前年 30 年度	29年度より引き続き市民公募8名、民生児童委員6名、男女共同参画推進事業者27名に推進員に就任していただいている。 ・市民委員8名については、引き続き、女性センターが発行する啓発し『フェミナル』の編集サポーターとしても3名参加し編集に携わった。また、「あまままるしえ」や「チアフルワークフェスタ」などのイベントにブースを設け、男女共同参画の視点を取り入れた防災のワークショップや女性のマネープランセミナー、交通安全教室を行った。 ・民生児童委員から推薦いただいた6名については、DV被害者に接する可能性のある団体の方が、被害者を早期に相談機関へ繋げるために、対応の流れや相談窓口をまとめた「DV防止リーフレット」を活用し、DV被害者を早期に相談機関へ繋げるよう協力を求めた。また、女性センターで開催される講座を民生児童委員内で周知いただき、参加を促していただいた。		男女共同参画推進員(市民公募)は2年間の任期となっているが、令和元年度に委嘱の男女共同参画推進員については、既に男女共同参画の啓発講師を行っている方、性的マイノリティに関する啓発を行っていききたい方、男女共同参画の視点を取り入れた防災の啓発を行いたい方、今から男女共同参画について勉強していききたい方と、意欲や能力が人によって様々である。												
		課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。													
		今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。													
		令和元年度は「性の多様性に関する部会」を開催し、啓発イラストを作成し、パートナーシップ宣誓制度リーフレットに掲載し、広く啓発を図ることができた。今後とも、個人の意欲や能力に応じた活動を実施していく。													

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	健康福祉局	課	福祉課	事業番号	2321
事業概要	(PLAN)				
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	3 地域コミュニティにおける男女共同参画の推進				重点方針
施策の方向	2 地域社会活動等の支援と男性の参加の促進				
事業番号/事業名	2321 ボランティア活動への男性の参加の促進				
事業内容	シニア世代も含めたボランティアの男性参加を促進するため、男性も受講しやすいボランティア養成講座など内容を工夫していく。				
令和元年度に向けた方向性(PLAN)	(課題)高齢化の進展等により今後も支援を必要とする人が増えていくことが予想される中、地域福祉活動を維持・発展させるためには、担い手となる人を効果的に確保・育成する仕組みづくりが課題となっている。(今後の方向性)新たな担い手づくりに向けて、市社協や小学校区ごとに配置する地域担当職員と連携し、様々な学びの場の参加者等が活動に結び付くための仕組みを検討する。				
参考	関連する計画	あまがさき地域福祉計画			
実施内容	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	<p>○ボランティアセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発広報機関誌ゆうりん 年間12回発行 7,800部 ・コーディネーター通信発行部数 年間12回発行 4,800部 ・ボランティア保険掛金助成 ・登録ボランティア 個人 237名(男性:90名 女性:147名) グループ 3,413名(男性:988名 女性:2,425名) <p>・幅広い世代がボランティア活動に参加するきっかけになるような、ボランティアの入門講座や学生向けの講座などを開催</p> <p>○ささえあい地域活動センター「むすぶ」</p> <p>尼崎市社会福祉協議会が各支部に設置したささえあい地域活動センター「むすぶ」では、「むすぶ」の登録者に地域福祉活動の紹介をするなど、活動につなげる取組を進めた。(「むすぶ」新規登録者数 H29:177人、H30:81人、R1:80人)</p> <p>○将来の地域福祉活動の担い手を育成するため、市社協や地域振興センターと連携し、高校・大学に情報提供等の支援を行ったことで、市民活動団体が実施する子どもの居場所での高校生による学習支援等の新たな取組が行われたほか、大学生による子ども食堂の支援を通じた地域防災活動への広がりと、学生等の主体的な取組による活動の広がりがみられた。</p> <p>○幅広い世代の地域福祉活動への主体的な参加を促進するために、FMあいあいや、市ホームページによる取組の情報発信や事業内容の周知を行った。</p>				
前年30年度	<p>○ボランティアセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発 広報機関誌ゆうりん 年間12回発行 6,600部 ・コーディネーター通信発行部数 年間12回発行 6,600部 ・ボランティア保険掛金助成 ・登録ボランティア 個人 239名(男性:93名 女性:146名) グループ 3,522名(男性:948名 女性:2,574名) <p>・幅広い世代がボランティア活動に参加するきっかけになるような、ボランティアの入門講座や学生向けの講座などを開催</p> <p>○ささえあい地域活動センター「むすぶ」</p> <p>尼崎市社会福祉協議会が各支部に設置したささえあい地域活動センター「むすぶ」では、ボランティア講座等の受講者の中で地域活動への参加を希望する人に地域活動を紹介した参加を促した。(「むすぶ」新規登録者数 H29:177人、H30:81人)</p>				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	30年度	元年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	・高齢化の進展等により、支援を必要とする人が増えていくことが予想される中、地域福祉活動を維持・発展させるためには、担い手となる人の確保・育成とともに、「むすぶ」登録者への活動志向に応じたきめ細やかな地域福祉活動に係る情報提供が課題となっている。 ・学生を含む幅広い世代に様々な活動への主体的な参画を促進するためには、連携先となる様々な地域福祉課題に取り組む市民活動団体等や活動場所の情報提供を行うなどの支援が必要となる。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	・引き続き、新たな担い手づくりに向けて、市社協の活動を補助することにより、地域福祉活動の担い手発掘等の講座を通して「むすぶ」への登録勧奨を行う。また市社協が行う活動と「むすぶ」登録者をマッチングすることにより、ボランティア活動への参加を促す。 ・様々な市民活動の支援に活用できるよう、市社協や地域振興センターが把握する市民活動団体の情報を共有する仕組みづくりを進める。				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	総合政策局	課	協働推進課	事業番号	2322										
事業概要 (PLAN)	基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 3 地域コミュニティにおける男女共同参画の推進 重点方針 施策の方向 2 地域社会活動等の支援と男性の参加の促進 事業番号/事業名 2322 地域活動への男性の参加の促進 事業内容 男性の地域活動への参加の好事例の紹介など、男性の地域活動への参加を促すような情報発信を地域団体と連携を取りながら検討していく。 令和元年度に向けた方向性 (PLAN) (課題) 男性の地域活動への参加を促すような取組や情報発信を継続して行う必要がある。 (今後の方向性)ポータルサイトにおいて、男性も参加しやすい情報発信の工夫を行うとともに、日頃の取組の中で男性の参加を促進できるよう地域課での事業等の企画・立案の中で仕掛けづくりも行っていく。														
参考	関連する計画														
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。														
令和元年度	あまがさきチャレンジまちづくり事業：地域の課題解決や魅力向上に向けて、市民主体の団体が実施する公益的な事業に対して支援を行った。また、募集チラシ等は、男女共同参画を意識し、文章の表現・イラストを工夫した。 市民活動の広場あまがさき：市民活動団体の情報や様々な事業に関する情報をポータルサイト「市民活動の広場あまがさき」で収集・発信している。令和元年度は、「イベント情報の掲載」「市民活動団体の登録」等を促すチラシを新たに作成し、年齢、性別、業種等に関わらず、幅広い方が参加できるように広く周知をおこなった。														
前年30年度	あまがさきチャレンジまちづくり事業において、地域住民自ら地域の課題解決に取り組むなど主体的な地域コミュニティの形成を促進するため、地域で活動を行う団体が実施する事業に対して支援を行った。 またポータルサイト(市民活動の広場あまがさき)にて、地域活動に関する情報を発信し参加を促した。														
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓														
評価2	(CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>					目標値	達成年度	年度	30年度	元年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	30年度	元年度											
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考											
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について														
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。														
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。														